

施策番号	2	(1-1)
------	---	-------

関連施策番号			
--------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する
将来像	つくば市ならではの強みをいかした気候変動対策が進み、先進的な低炭素モデル都市となっています。
施策の柱	1-1 低炭素社会の実現に向けた様々な主体の取組の促進
施策の方向性	市民による省エネの促進

事業概要				
担当課・室	生活環境部 環境政策課			
事業の目的	家庭や事業所で実施する省エネ対策やエネルギーの使用実態をモニタリングし、測定結果から得られる省エネ効果をはじめとする情報を被験者へフィードバックするほか、地域内外で広く活用します。			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングに先立ち、取得するデータの内容や実施機関、データの検証方法、フィードバックする情報について検討します。 ・被験者からモニタリングデータの提供をしていただきます。 ・モニタリングの結果から得られた対策別の省エネ効果や様々な知見を被験者にフィードバックし、地域内外の共有財産として情報を活用することができるようになります。 			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・現在取得しているデータの省エネに対する有効性の確認や有効なデータの取得に向けて、公的研究機関と協議を行います。 ・低炭素住宅の補助金交付者から月ごとのモニタリングデータを取得します。 ・モニタリングデータを広く活用できるように、データの取りまとめを行い、個人情報等を削除してフォーマットを整えます。 			
R4年度成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">モニタリングデータ取得率</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">目標値</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">90%</td> </tr> </table>	モニタリングデータ取得率	目標値	90%
モニタリングデータ取得率	目標値	90%		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	データの取得に当たり、フォーマットが集計に適していないことから、データを転記する際の誤りの原因になっています。次年度のデータ取得に向けてフォーマットやデータ取得回数の再検討が必要です。
年間 (4～3月分)		<ul style="list-style-type: none"> 産業技術総合研究所と低炭素住宅のモニタリングデータの活用方法や活用しやすいデータの内容について協議を行いました。 平成30年度の低炭素住宅補助金交付者26名のうち9名から3年度分のモニタリングデータを取得しました。 令和元年度、令和2年度分の低炭素住宅のモニタリングデータを世帯別の数値データとして提供できるようにフォーマットを作成し、データの整理を行いました。
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	未達成であった	
2	<p>モニタリングデータ取得率は43%であり、目標を達成することができませんでした。 (モニタリングデータ取得率=62名/145名) ※平成30年度、令和元年度及び令和2年度の低炭素住宅補助金交付者145名のうちモニタリングデータの提出者は62名でした。</p>	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	モニタリングデータの取得率を高める必要があります。	
改善目標	モニタリングデータの取得方法を検討します。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	未達成であった	
2	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> モニタリングデータとして最適な情報やデータの検証方法を再検討した上で、補助金交付者から取得するデータのフォーマットを決定します。 低炭素住宅の補助金交付者からモニタリングデータの取得方法を検討した上で取得します。 		
R5年度 成果指標	モニタリングデータのフォーマット作成	目標値	モニタリングデータのフォーマット完成

施策番号	3	(1-1)
-------------	---	-------

関連施策番号	1(1-1)	67(5-3)
---------------	--------	---------

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する
将来像	つくば市ならではの強みをいかした気候変動対策が進み、先進的な低炭素モデル都市となっています。
施策の柱	1-1 低炭素社会の実現に向けた様々な主体の取組の促進
施策の方向性	マルチベネフィットな低炭素化プロジェクトの推進[重点施策]

事業概要			
担当課・室	生活環境部 環境政策課		
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、市民や事業者と連携して温室効果ガスの排出削減に寄与しながら、経済的・社会的な課題の解決に貢献します。 		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 企業、大学・研究機関、県などと連携して、組織を超えた関係者による事業の検討、研究、企画等を進めて、つくば市域における地球温暖化対策を進めます。 事業者の取組支援として「茨城県中小規模事業所省エネルギー対策実施計画書制度」等の制度を活用し、事業者とコミュニケーションを図り、温室効果ガス削減の具体的取組を共有していきます。 運輸部門の温室効果ガス排出削減策として、つくば市と事業者等が連携して宅配ボックス利用促進や交通シェアリングの実現・拡充に向けて実証実験等を進めます。 		
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 市域におけるJクレジットの活用を検討するため、プロセスや事業収支を整理し、経済性や削減量を明確にして効果を把握します。また、市内の事業者の温暖化対策に対する取組状況や考え方を確認するため、市域の特定事業者へのヒアリングを実施します。 令和4年度から既設共同住宅向け宅配ボックス設置補助金事業や庁舎駐車場を活用した事業者連携のカーシェアリング事業を実施し、削減効果の検証、利用者の分析を事業者と連携して行います。 		
R4年度成果指標	<ul style="list-style-type: none"> Jクレジットの活用を検証した資料作成 宅配ボックス設置事業補助金件数、カーシェアの利用者分析資料の作成 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> 資料の完成 50件、資料の完成

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	<ul style="list-style-type: none"> ・Jクレジットは、市でクレジット化できる対象のプログラムが少なく、コストメリットが小さい可能性があります。 ・宅配ボックスは、9月末時点において、補助申請件数が少なく、周知が必要です。
年間 (4～3月分)		<ul style="list-style-type: none"> ・Jクレジット制度は、市域において活用可能性のあるプロジェクトを調査しました。「省エネルギー住宅の新築」や「太陽光発電設備の導入」に関するプロジェクトについて、活用可能性があることが分かり、実施する場合のプロセスを整理しました。 ・宅配ボックスは、補助件数が年間で14件でした。ヒアリング等により収集した情報等を一部、次年度の要項へ反映しました。 ・カーシェアは、2022年6月24日につくば市役所カーシェアステーションの運用を開始し、3月末までに857件の利用がありました。新たな事業展開を検討するため、市内カーシェアリング利用者向けにアンケートを実施しました。
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	一部未達成であった	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・Jクレジット制度は、プロジェクトを実施する場合のプロセスを整理し、資料としてまとめました。 ・宅配ボックスは周知不足等が原因で目標件数が未達でした。次年度は目標を達成するため、ヒアリングにより抽出した課題等を補助制度へ反映しました。 ・新たな展開方法に向けて、事業者と連携した駐車場におけるカーシェアリング事業を開始し、利用者分析、会員へのアンケート調査を行い、次年度の検討材料となる資料を作成しました。 	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・Jクレジット制度を活用するに当たり、新たな課題として、モデリングに必要なデータの収集方法、環境価値提供者との環境価値の取り交わしについての取り決め、個人情報の収集・管理などがあげられます。 ・宅配ボックス申請件数が、目標値を大幅に下回っており、市民や共同住宅の所有者に対して周知が不足しています。 ・駅前、商業施設周辺、学校・公共施設周辺にカーシェアリングステーションのニーズがあることが明らかになりました。新たな展開方法に向けて、ステーション増設等の検討が必要です。 	
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Jクレジット制度で必要なモデリングデータを効率的かつ確実に収集する方法を検討します。各プログラムの規定や適用条件を確認し、市民に対する補助金の要件や制度の運用方法などを整理します。 ・補助金制度を周知して、宅配ボックスの設置数増加を働きかけます。 ・ステーション増設の検討を行うため、アンケート結果や利用者データを活用するほか、事業者へ働きかけを行います。 	
つくば市環境審議会の意見		
評価	一部未達成であった	
3	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・Jクレジット制度について、活用可能性のあるプログラムの規程や適用条件、モデリングに必要な情報の収集方法や制度の運用方法を整理し、今後の制度活用の実現性や方向性を検討します。 ・宅配ボックス導入における課題やニーズを調査するため、補助制度の利用者や配送業者などにヒアリング調査等を実施し、補助対象や補助額を見直すなど、より効果の高い補助制度にすることで、宅配ボックスの更なる普及を促進します。 ・宅地建物取引業協会やトラック協会の協力を仰ぐなど、宅配ボックスの更なる周知を行います。 ・カーシェアリング事業について、昨年度実施したアンケート結果や利用者データ、市民ニーズを基に、制度認知者や利用者を増やすための手立てを検討し、次年度以降の事業の方向性を決定します。 ・気候市民会議つくばを共催し、市民から気候変動の問題に対する有効な取組について提言を受け、施策へ反映させます。 		
R5年度 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・宅配ボックス補助件数 ・カーシェアリングの次年度以降の事業の方向性の検討 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・50件 ・方向性を決定します。

施策番号	4	(1-2)
-------------	---	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する
将来像	省エネや再生可能エネルギーの導入が推進され、まちや建物の低炭素化が実現しています。
施策の柱	1-2 まち・建物の低炭素化
施策の方向性	建物の省エネ・再エネ導入の推進

事業概要				
担当課・室	生活環境部 環境政策課			
事業の目的	事業者や市民による建築物の省エネ化や再エネ設備の導入を推進して、建築物の低炭素化を図るためです。			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や事業者による再エネや蓄電池等の導入における課題やニーズを調査し、補助の必要性・必要量や導入促進につながる情報を整理します。 ・上記調査を経て、事業者や市民による再エネや蓄電池等の導入に際し、最適な補助や情報提供を行い、建築物の低炭素化を促進します。 			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・再エネ機器や燃料電池等の導入補助における効果や必要性を判断するため、導入によるCO2削減量やコストなどを考慮して課題の洗出しを行います。 ・建築物の低炭素化を促進するため、つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインに基づく低炭素住宅の認定、購入費用の補助、燃料電池、蓄電池の設置者に対して、購入費用の補助を行います。また、住宅展示場等に補助事業の広報チラシを設置します。 			
R4年度成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">燃料電池及び蓄電池の補助件数 補助燃料電池のCO2削減量</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">目標値</td> <td style="width: 30%;">150件/年 ▲89t-CO2</td> </tr> </table>	燃料電池及び蓄電池の補助件数 補助燃料電池のCO2削減量	目標値	150件/年 ▲89t-CO2
燃料電池及び蓄電池の補助件数 補助燃料電池のCO2削減量	目標値	150件/年 ▲89t-CO2		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	導入効果を考慮した上で、補助事業の見直しを行う必要があります。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・低炭素住宅や再エネ機器、蓄電池等の年間CO2削減量及び導入コスト等を推計し、補助対象外の機器と比較することで、補助事業における課題の洗出しを行いました。 ・つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインに基づく低炭素住宅、燃料電池、蓄電池の設置者に対して、費用の一部を補助しました。〔交付決定数：燃料電池21件（CO2削減量約115t）、蓄電池177件（CO2削減量約25t）〕 ・近隣の住宅展示場等へクリーエネ機器設置補助に関するチラシ等を設置しました。 ・市民ニーズが高く、申請期限前に補助金の交付件数を満たしたことから、R5年度の交付件数を増やしました。 ・補助金申請者の負担を考慮して、提出書類の削減などの要項改正を行いました。 	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	目標を大幅に超えて達成した	
5	市民ニーズが高く、補助金の交付件数を満たしました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	特にありません。	
改善目標	特にありません。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	目標を大幅に超えて達成した	
5	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量削減に効果的な補助制度の調査については、技術革新及び市場動向を注視し、研究機関等の専門家にアドバイスを受けながら、導入における課題・ニーズを調査した上で、適正な省エネ機器や補助金額、件数等を設定します。 ・つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインに基づく低炭素住宅の認定、燃料電池、蓄電池、V2Hシステムの設置者に対して、購入費用の補助を行います。また、情報発信に関しては、市HPでの周知のほか、近隣の住宅展示場等へのチラシ等の設置、SNSやつくすま等を活用した新たな周知方法に取組みます。 		
R5年度 成果指標	蓄電池や燃料電池等の導入補助を実施した件数（及び削減量）	目標値	蓄電池 : 330件（▲214t-CO2） 燃料電池 : 80件（▲96t-CO2） V2Hシステム : 20件

施策番号	5	(1-2)
-------------	---	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する
将来像	省エネや再生可能エネルギーの導入が推進され、まちや建物の低炭素化が実現しています。
施策の柱	1-2 まち・建物の低炭素化
施策の方向性	低炭素でコンパクトなまちづくり

事業概要				
担当課・室	生活環境部 環境政策課			
事業の目的	「低炭素（建物・街区）ガイドライン」の見直しや効果的な運用により、市内の建築物の低炭素化を加速させます。これにより、建物で消費するエネルギー消費量の抑制を図り、温室効果ガス排出を抑制します。			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「低炭素（建物・街区）ガイドライン」の周知を行い、低炭素モデル街区の整備・開発をサポートします。 ・「低炭素（建物・街区）ガイドライン」を効果的に運用するため、定期的な見直しを実施します。 			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・低炭素モデル街区の整備・開発をサポートするため、窓口で「低炭素ガイドライン」に関する相談に対して助言を行います。また、ガイドラインの基準を満たす低炭素住宅（戸建、集合住宅、非住宅）の認定を行います。 ・「低炭素ガイドライン」見直しのため、ガイドラインの骨格となる国の基準の変更等について情報収集を行います。 			
R4年度成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">低炭素建物の認定戸数</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">目標値</td> <td style="width: 40%;">戸建 55戸/年 集合住宅 1戸/年 非住宅 1棟/年</td> </tr> </table>	低炭素建物の認定戸数	目標値	戸建 55戸/年 集合住宅 1戸/年 非住宅 1棟/年
低炭素建物の認定戸数	目標値	戸建 55戸/年 集合住宅 1戸/年 非住宅 1棟/年		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・「低炭素ガイドライン」に関する相談は、ありませんでした。また、ガイドラインの基準を満たす低炭素住宅〔戸建111件、集合住宅0戸、非住宅0棟（つくばSMILEハウスレベル2：0件、レベル3：111件）の交付及び認定を行いました。 ・「低炭素ガイドライン」見直しのため、国の基準の変更等についての情報収集を行いました。変更がありませんでした。 ・市民ニーズが高く、申請期限前に補助金の交付件数を満たしたことからR5年度の交付件数を増やしました。 ・補助金申請者の負担を考慮して、提出書類や事務手続きの削減などの要項改正を行いました。 	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	一部未達成であった	
3	集合住宅及び非住宅については、申請がなかったため、目標を達成することができませんでした。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	「低炭素ガイドライン」を見直す必要があります。	
改善目標	「低炭素ガイドライン」の見直しのため、調査を実施します。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	一部未達成であった	
3	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市HPにて「低炭素（建物・街区）ガイドライン」の周知を行います。また、ガイドラインの基準を満たす低炭素住宅（戸建、集合住宅、非住宅）の認定を行います。 ・「低炭素ガイドライン」を効果的に運用するため、ガイドラインの見直しについて調査を進めます。 		
R5年度 成果指標	つくばSMILEハウスの認定件数	目標値	220戸/年

施策番号	6	(1-2)
-------------	---	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する
将来像	省エネや再生可能エネルギーの導入が推進され、まちや建物の低炭素化が実現しています。
施策の柱	1-2 まち・建物の低炭素化
施策の方向性	低炭素でコンパクトなまちづくり

事業概要			
担当課・室	都市計画部 都市計画課		
事業の目的	立地適正化計画に基づき、生活サービス施設や住居がまとまって立地し、公共交通ネットワークと連携した、地域の生活拠点も含めた多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくりを推進します。		
事業の概要	居住を誘導することで人口密度の維持・向上を図る居住誘導区域の区域外で、一定規模以上の住宅開発等を行う場合、事前届出制度を実施します。住宅開発等を制限するものではなく、市が事前に動向を把握するための制度です。		
R4年度事業計画	届出制度により事前に開発等の動向を把握し、届出者に対して取組や施策などの情報を提供し区域内での立地を促していきます。		
R4年度成果指標	—	目標値	—

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画に関する問合せの際に立地適正化計画について案内を行いました。 ・居住誘導区域外における住宅の開発等の届出を28件、都市機能誘導区域外における誘導施設の開発等の届出を7件受付し、立地動向を事前に把握しました。 	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	-	
-	届出制度により、居住誘導区域外における住宅の開発等の届出を28件、都市機能誘導区域外における誘導施設の開発等の届出を7件受付し、立地動向を事前に把握するとともに、区域内での立地の重要性について意識向上を図るため、届出者に対して取組や施策などの情報を提供しました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	開発や建築の事業者、委任される事業者において立地適正化計画の目的や届出の必要性についての認知度向上が必要です。	
改善目標	開発指導課や建築指導課とも協力しながら、届出漏れを減らすための事業者への指導を行います。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	-	
-	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	HPや窓口で計画の目標や概要を周知し、届出制度の適正な運用を図り、区域内への立地を促すとともに、事前に開発等の動向を把握することで、今後の計画に役立てていきます。		
R5年度 成果指標	-	目標値	-

施策番号	7	(1-2)
-------------	---	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する
将来像	省エネや再生可能エネルギーの導入が推進され、まちや建物の低炭素化が実現しています。
施策の柱	1-2 まち・建物の低炭素化
施策の方向性	公共施設の低炭素化

事業概要				
担当課・室	生活環境部 環境政策課			
事業の目的	市民・事業者・市が省エネ対策をはじめとする低炭素な行動を選択し、エネルギーの有効な利用を図ることにより温室効果ガス排出を抑制します。			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や事業者に率先して、公共施設におけるエネルギーの有効利用、設備の省エネ化を実施します。 ・環境配慮契約法に基づき、低炭素な電力を選択します。 ・ナッジ等の行動科学に基づく知見を活用した省エネ行動の選択について市役所で実践して、その結果を活用して市民、事業者の行動変容につながる取組や情報を提供します。 			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・つくば市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改定に伴い、公共施設の新改築や設備の新設・更新時の省エネ設備や再エネ導入の基準を検討します。 ・環境配慮契約法に基づき、低炭素な電力を継続して選択します。また、サステナスクエアにおける廃棄物焼却発電について、令和4年度から市役所本庁舎外40公共施設へ自己託送を実施します。 ・市民の行動変容につなげるため、市役所で実践したナッジによる照明等の運用改善について、その手法や効果などの情報を市民に提供します。 			
R4年度成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">つくば市役所におけるCO2排出量</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">目標値</td> <td style="width: 30%;">49,219t-CO2</td> </tr> </table>	つくば市役所におけるCO2排出量	目標値	49,219t-CO2
つくば市役所におけるCO2排出量	目標値	49,219t-CO2		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	つくば市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改定作業は、当初の予定よりも遅れているため、再調整する必要があります。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・つくば市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を改定し、公共施設の新改築や設備の新設・更新時の省エネ設備や再エネ導入の参考とするため、導入指針を作成しました。 ・サステナスクエアにおける廃棄物焼却発電について、市役所本庁舎外40の公共施設への自己託送を、10/1から開始しました。 ・市民の行動変容につなげるため、エコドライブやグリーン購入、照明のLED化等について、サポーターズニュースを通して啓発しました。 	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	一部未達成であった	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の新改築や設備の新設・更新時の省エネ設備や再エネ導入の参考とするため、導入指針を作成しました。 ・サステナスクエアにおける廃棄物焼却発電について、市役所本庁舎外40の公共施設への自己託送を、10/1から開始しました。 ・つくば市役所におけるCO2排出量は、58,251t-CO2で、目標を達成できませんでした。一般廃棄物に含まれる廃プラスチック類の割合が高かったことが、主な要因です。 	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	公共施設の新改築や設備の新設・更新時の省エネ設備や再エネ導入指針を有効に活用し、温室効果ガス排出量削減を確実に進めるために、推進体制を工夫する必要があります。また、費用面及び技術的な面で専門的な知見が必要です。	
改善目標	公共施設の省エネ化・再エネ導入については、つくば市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の取組として、特別職をトップとする直轄的な組織で推進します。また、活用できる補助金や手法について、庁内で情報を共有します。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	一部未達成であった	
3	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の全ての照明を100%LED化するため、2030年度までの導入計画案を作成します。 ・高圧受電施設を対象に太陽光発電設備導入調査を実施し、調査結果を各課にフィードバックします。 ・環境配慮契約方針に基づき、低炭素な電力を継続して選択します。また、サステナスクエアにおける廃棄物焼却発電について、市役所本庁舎外40の公共施設へ自己託送を継続します。 ・市役所で実践した省エネの取組について、市民に啓発します。 		
R5年度 成果指標	つくば市役所からの温室効果ガス排出量	目標値	47,791t-CO2

施策番号	8	(1-3)
-------------	---	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する
将来像	自家用車に頼らなくても生活できるまちに近づいています。
施策の柱	1-3 低炭素な交通システムの実現
施策の方向性	低炭素な公共交通の充実

事業概要				
担当課・室	都市計画部 総合交通政策課			
事業の目的	環境基本計画に定めた将来像を達成するために、次の公共交通を運行します。 ①市内公共交通網の幹線として、路線バスを補完し、市内各地の核となる拠点と鉄道駅を結び、都市内交通としての役割を担う、コミュニティバス「つくバス」 ②市内公共交通網の支線として、幹線である路線バス・つくバスを補完し、バスへの接続を担うとともに、交通弱者をはじめとする市民の日常生活を支える交通手段となる、デマンド型交通「つくタク」			
事業の概要	法定協議会である「つくば市公共交通活性化協議会」を開催し、次の内容について協議します。 ①つくバス運行に伴う利用状況の確認や、バス停留所新設・移設等の利便性向上策の検討など ②つくタク運行に伴う利用状況の確認や、収支率改善に向けた利便性向上策の検討など なお、成果指標は、各交通モードの利用者数とします。			
R4年度事業計画	つくば市公共交通活性化協議会について、以下の日程での開催を計画します。 ・6月 前年度状況報告、今年度事業計画などについて協議 ・11月 上半期利用状況報告、利便性向上策検討協議など ・2月 第3四半期利用状況・指標進捗報告、利便性向上策検討協議など			
R4年度成果指標	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス利用者数 ・デマンド型交通利用者数 </td> <td style="width: 10%; text-align: center;">目標値</td> <td style="width: 40%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス利用者数：1,029,400名 ・デマンド型交通利用者数：55,200名 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス利用者数 ・デマンド型交通利用者数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス利用者数：1,029,400名 ・デマンド型交通利用者数：55,200名
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス利用者数 ・デマンド型交通利用者数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス利用者数：1,029,400名 ・デマンド型交通利用者数：55,200名 		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	新型コロナウイルスの影響を最も受けた令和2年度以降、利用者数は徐々に増加傾向ではありますが、コロナ以前の利用者数までには回復していません。
年間 (4～3月分)	<p>つくば市公共交通活性化協議会について、以下の日程で開催をしました。</p> <p>[6月]前年度公共交通利用状況、令和4年10月のつくバス改正（ダイヤ改正、バス停留所の追加）、令和4年10月のつくタク改正（利用料金の決済方法に現金払いを追加など）などについて説明・審議し、承認を得ました。</p> <p>[11月]上半期公共交通利用状況、つくバス停留所の見直し基準の設定、つくタク共通ポイント（出産支援運賃割引証所持者限定）の追加など説明・審議し、承認を得ました。</p> <p>[2月]第3四半期までの公共交通利用状況、つくタクの見直し方針、令和5年4月のつくバス改正（ダイヤ改正、バス停留所の追加など）、令和5年4月のつくタク改正（特例ポイントの追加）及び新高校生等に対するバスお試し乗車券の配布などについて、説明・審議し、承認を得ました。</p> <p>R4コミュニティバス利用者数は970,959名（2月までは実績、3月は4月～2月までの平均値で算出）、デマンド型交通利用者数は48,332名（2月までは実績、3月は4月～2月までの平均値で算出）となり、R3年度よりは利用者数が回復しているものの、新型コロナウイルス感染症拡大前のR1年度の水準には戻っておらず、目標値を達成することができませんでした。</p>	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	一部未達成であった	
3	つくば市公共交通活性化協議会を開催し、つくバスのダイヤ改正やつくタクの利用料金の決済方法の改正など、利便性向上の資する取り組みを実施することで、事業計画は達成しましたが、新型コロナウイルスのまん延による移動自粛に端を發したテレワークやオンライン会議などの新しい生活様式の定着により目標値は未達成でした。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	新型コロナウイルスのまん延による移動自粛に端を發したテレワークやオンライン会議などの新しい生活様式の定着により、公共交通利用者が新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで回復していません。	
改善目標	利便性を高め、公共交通を利用してもらえるように、つくば市地域公共交通計画に定めた各施策の実現に向けて、検討を進めます。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	一部未達成であった	
3	相乗りによって、単独での移動が減り、CO2が減るといような、具体的な説明があると分かりやすいと思います。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<p>つくば市公共交通活性化協議会について、以下の日程での開催を計画します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月 前年度状況報告、今年度事業計画などについて協議 ・11月 上半期利用状況報告、利便性向上策検討協議など ・1月 第3四半期利用状況・指標進捗報告、利便性向上策検討協議など 		
R5年度 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス利用者数 ・デマンド型交通利用者数 ・筑波地区支線型バス利用者数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス利用者数：1,041,200名 ・デマンド型交通利用者数：55,600名 ・筑波地区支線型バス利用者数：5,760名

施策番号	9	(1-3)
-------------	---	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する
将来像	自家用車に頼らなくても生活できるまちに近づいています。
施策の柱	1-3 低炭素な交通システムの実現
施策の方向性	自転車利用の推進

事業概要			
担当課・室	都市計画部 総合交通政策課 サイクルコミュニティ推進室		
事業の目的	クルマから自転車への転換を推進します。		
事業の概要	環境に優しく、健康増進にもつながる自転車を市内の重要な交通手段の一つとして位置づけ、自転車の安全で適正な利用を促すことを重点に、つくば市自転車安全利用促進計画に基づき、安全教育や走行環境の整備などの取組を行います。		
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）つくば市自転車活用推進計画の策定準備 自転車のみつくば推進委員会：6月、9月、12月、3月（予定） ・シェアサイクル実証実験事業「つくチャリ」運営 ・「つくば市児童自転車用ヘルメット購入補助金」「つくば市幼児2人同乗用自転車購入費補助金」の交付 ・旧筑波東中学校自転車拠点整備業務の実施 		
R4年度成果指標	隔年毎に実施される、つくば市民意識調査の設問「日常利用する交通手段」に「自転車」と回答した市民の割合	目標値	21%

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査は実施されない年度でしたが、「つくば市民意識アンケート」が実施され、同アンケートにおける設問「日常利用する交通手段」に「自転車」と回答した市民の割合については、26.2%となり、設定した目標値を上回る結果となりました。 ・（仮称）つくば市自転車活用推進計画の策定準備として、自転車のまちつくば推進委員会の第1回を10月に、第2回を11月に開催しました。 ・シェアサイクル実証実験事業「つくチャリ」は利用が、目標値を大幅に上回り増加しており、5月に1か所ステーションを増設し、10月にも1か所ステーションを増設しました。 ・2種類の補助金事業については、進捗状況は以下のとおりです。 つくば市児童自転車用ヘルメット購入補助金 263件申請受理（上限250件） つくば市幼児2人同乗用自転車購入費補助金 16件申請受理（上限50件） ・旧筑波東中学校自転車拠点整備事業については、7月に校舎リノベーション工事の工事着工、グラウンドへのBMXコース整備事業は10月に着工し、令和5年3月に完了しました。 	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	シェアサイクル実証実験事業が堅調であり、当初目標を大きく上回って利用が見られたほか、旧筑波東中学校自転車拠点の整備についても令和4年度に着工した工事が完了しました。また、補助金事業も引き続き多くの利用が見られ、自転車の安全利用促進に貢献できました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「サイクルコミュニティ」形成に向け、市民や自転車関係者との関係構築及び自転車利用層の拡大 ・「（仮称）つくば市自転車活用推進計画」の策定 ・シェアサイクルの利用者増加に伴う対応 ・旧筑波東中学校自転車拠点の運営体制の整備 	
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に実施した自転車イベントをより改善し、サイクルコミュニティ推進につながる形で開催します。 ・令和4年度に開催した自転車のまちつくば推進委員会において、市内の自転車走行把握に努めたので、そこで得た知見を基に、「（仮称）つくば市自転車活用推進計画」策定を進めます。 	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）つくば市自転車活用推進計画の策定準備 自転車まちつくば推進委員会：7月、9月、12月、3月（予定） ・シェアサイクル実証実験事業「つくチャリ」運営 ・「つくば市児童自転車用ヘルメット購入補助金」「つくば市幼児2人同乗用自転車購入費補助金」の交付 ・旧筑波東中学校自転車拠点整備業務の実施 ・サイクルコミュニティ推進のための自転車イベント開催 		
R5年度 成果指標	つくば市民意識調査の設問「日常利用する交通手段」に「自転車」と回答した市民の割合	目標値	25%

施策番号	10	(1-3)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する
将来像	自家用車に頼らなくても生活できるまちに近づいています。
施策の柱	1-3 低炭素な交通システムの実現
施策の方向性	自転車利用の推進

事業概要				
担当課・室	建設部 公園・施設課			
事業の目的	自転車等駐車場の施設利用者の安全確保を第一とし、快適に利用できるように空間の維持管理及び提供を行います。			
事業の概要	市が管理する21か所の自転車等駐車場の維持管理、放置自転車対策を適切に実施します。			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車等駐車場維持管理事業 市管理の自転車駐車場21か所の巡回・清掃・収納料金業務等 (1年を通し実施) ・放置自転車等対策事業 放置禁止区域エリアや市管理の自転車等駐車場における放置自転車の警告・口頭指導や撤去 (週3回を基本に1か月あたり13回実施) 			
R4年度成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">自転車駐車場維持管理</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">目標値</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> </table>	自転車駐車場維持管理	目標値	
自転車駐車場維持管理	目標値			

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	<p>(1) 各駅前等において環境向上のため、放置自転車の撤去および指導を実施しました。 放置自転車 撤去台数641台 警告指導件数1,681件・口頭指導件数：553件</p> <p>(2) 利用者の利便性向上を図るため、既設の自転車等駐車場の老朽化した設備の修繕を実施しました。</p>	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	・放置自転車等の撤去および指導を実施したことで、駅前広場の環境向上へ繋がりました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・無料の自転車等駐車場について、有料化を検討する必要があると考えています。 ・各駅前における放置自転車防止対策や環境向上のため、撤去および指導の実施を引き続き進めます。 	
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場の無料から有料化への検討を計画します。 ・各駅前において、放置自転車の撤去および指導を実施し、環境の向上を進めます。 ・既存の自転車等駐車場の一部を再整備し、大型自動二輪車が駐車できる駐車区画を整備します。 	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	自転車駐車の施設利用者の安全確保を第一とし、快適に利用できるような空間の維持管理及び実施を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・自転車等駐車場維持管理事業 市管理の自転車駐車場21か所の巡回・清掃・収納料金業務等 (1年を通し実施) ・放置自転車等対策事業 放置禁止区域エリアや市管理の自転車等駐車場における放置自転車の警告・口頭指導や撤去 (週3回を基本に1か月あたり13回実施) 		
R5年度 成果指標	自転車駐車場維持管理	目標値	—

施策番号	12	(1-3)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する
将来像	自家用車に頼らなくても生活できるまちに近づいています。
施策の柱	1-3 低炭素な交通システムの実現
施策の方向性	自動車利用の低炭素化

事業概要				
担当課・室	生活環境部 環境政策課			
事業の目的	EV等の低炭素自動車に関する情報提供や補助等の実施により、低炭素自動車への転換を促し、自動車の走行に伴う温室効果ガス排出を抑制します。			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の走行に伴う温室効果ガス排出を抑制するためエコドライブの啓発に努めます。 ・低炭素車の導入に対する補助や、国・県の補助に関する最適な情報提供を行う等、市民や事業者による低炭素車の選択を促します。 			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・イントラネットへのテロップ掲載により庁内職員へエコドライブを推進します。 ・電気自動車、燃料電池自動車を新たに購入する者に対して費用の一部を補助します。ホームページや自動車ディーラーを通じて、低炭素自動車の導入に対する市及び国・県の補助に関する情報提供を行います。 			
R4年度成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">低炭素自動車への乗換えに対する補助の交付台数及び削減量</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">目標値</td> <td style="width: 30%;">45台/年 ▲52t-CO2</td> </tr> </table>	低炭素自動車への乗換えに対する補助の交付台数及び削減量	目標値	45台/年 ▲52t-CO2
低炭素自動車への乗換えに対する補助の交付台数及び削減量	目標値	45台/年 ▲52t-CO2		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの啓発を計3回行いました。 職員への啓発：イントラネットへのテロップ掲載2回（4月8日、4月28日） サポーターズニュース：「今日から始めるエコドライブ」7月号 ・電気自動車、燃料電池自動車を新たに購入する者に対して、費用の一部を補助しました。〔補助申請件数：電気自動車70件（CO2削減量約66t）、燃料電池自動車0件、V2Hシステム8件〕 ・ホームページや自動車ディーラーを通じて、低炭素自動車の導入に対する市及び国・県の補助に関する情報提供を計9回行いました。（ホームページ掲載数4回、自動車ディーラーへの情報提供数5回） ・補助金申請者の負担を考慮して、提出書類の削減などの要項改正を行いました。 	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	目標を大幅に超えて達成した	
5	目標値を超えた申請があり、CO2削減量の抑制につながりました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	水素自動車の普及を促すため、インフラ整備を働きかける必要があります。	
改善目標	市内水素ステーションの営業時間を延長する等の利便性の向上や、民間主導での施策を検討します。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	目標を大幅に超えて達成した	
5	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市HPやサポーターズメール、SNS等を活用して、エコドライブ啓発等に関する幅広い周知を行います。 ・燃料電池自動車(水素自動車)を新たに購入する市民に対して費用の一部補助を実施します。また、市HPや自動車ディーラーを通じて、補助制度の紹介等、低炭素車の導入促進につながる情報提供を行います。 		
R5年度 成果指標	低炭素車への乗換えに対する補助の交付件数	目標値	3件

施策番号

13 (1-4)

関連施策番号

■ 令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票 ■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する
将来像	異常気象や災害に対して、強靱で柔軟性のあるまち（レジリエンスのあるまち）となっています。
施策の柱	1-4 気候変動への適応
施策の方向性	気候変動と関連する災害による影響の低減

事業概要				
担当課・室	市長公室 危機管理課			
事業の目的	気候変動によって生じる酷暑などの異常気象や発生可能性が高まる土砂災害や洪水などの災害に対して、事前に備えをすることでその影響を低減する方策を検討します。			
事業の概要	日頃から気候変動に適応することの重要性について関心と理解を深め、つくば市ハザードマップや防災出前講座等をとおして災害に対する事前の備えを促します。			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の備えや災害時における情報収集方法、新たなに指定された谷田川の洪水浸水想定区域などについて、広報つくばやホームページ、出前講座などを利用し周知します。 ・対面での出前講座のほか、防災に関する動画を作成し多くの人に周知できるようにします。 ・新設する教育施設等（小・中学校、プール）に災害用井戸、非常用電源等の防災設備の設置を進めます。 			
R4年度成果指標	<table border="1"> <tr> <td>—</td> <td>目標値</td> <td>—</td> </tr> </table>	—	目標値	—
—	目標値	—		

進捗状況・実績

上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	新型コロナウイルス感染症の感染状況に影響を受けずに災害に対する事前の備えを促すため、対面の出前講座だけでなくオンラインでも引き続き実施をするほか、広報紙、動画、SNSなど様々な方法で周知を行う必要があります。
年間 (4～3月分)		<ul style="list-style-type: none"> ・防災出前講座等については、計29回開催し、自宅の安全対策、備蓄、災害時の情報の取り方など防災対策について啓発しました。 ・広報つくばに、上半期の内容のほか、市公式YouTubeで配信している防災動画紹介、SNSを活用した防災対策についての記事を4回(5月、7月、1月、2月)掲載しました。幅広い年代に周知する工夫として4コマ漫画も掲載しました。 ・家具の転倒防止、避難の考え方、断水への備え等の防災動画を7本作成し、市公式YouTubeでの配信を新たに実施しました。 ・防災等のイベントについて、上半期の内容のほか、イーアスつくばにおいて防災に関するパネル展示を1か月間実施しました。 ・上田中地区・下田中地区の2地区において、地区防災計画の作成支援を行い、策定しました。 ・研究学園小中学校、香取台小学校に災害用井戸及び施設の非常用発電機を整備しました。 ・学校法人角川ドワンゴ学園S高等学校(旧 筑波西中学校)に既設災害用井戸を使用するための非常用発電機を整備しました。

目標に対する年度末の達成状況及び成果

評価	おおむね目標どおり達成した
4	防災出前講座については、新型コロナ以前と同程度の回数を実施するとともに、内容もこどもから高齢者、聴覚障害者、外国人など様々な方に対し実施しました。また、出前講座以外にも、防災等のイベントや動画の配信などを利用し災害に対する事前の備えを周知しました。

課題及び次年度へ向けた改善目標

課題	災害時における安否確認や避難行動の支援等において地域の助け合いが大切であるため、洪水浸水想定区などの災害リスクが高い地域に対し、地域での共助の取り組みを支援する必要があります。
改善目標	地区防災計画が未策定の洪水浸水想定区域内の地区で、策定の支援を進める必要があります。また、地域の防災リーダーとしての役割が期待される防災士の活動が、地域に根差した活動につながるよう支援を行う必要があります。

つくば市環境審議会の意見

評価	おおむね目標どおり達成した
4	特になし。

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の備えや災害時における情報収集方法、新たに指定された谷田川の洪水浸水想定区域などについて、広報つくばやホームページなどを利用して周知します。 ・出前講座や商業施設における防災イベント等を開催し、防災についての啓発を行います。 ・避難所として指定されている新設教育施設等(小・中学校、プール)に災害用井戸、非常用電源等の防災設備の設置を進めます。 		
R5年度 成果指標	—	目標値	—

施策番号	14	(1-4)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■ 令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票 ■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する
将来像	異常気象や災害に対して、強靱で柔軟性のあるまち（レジリエンスのあるまち）となっています。
施策の柱	1-4 気候変動への適応
施策の方向性	気候変動の中での健康の維持

事業概要			
担当課・室	保健部 健康増進課		
事業の目的	気候変動によって生じる酷暑等の異常気象の中において、市民の健康維持を図ります。		
事業の概要	熱中症警戒アラートの周知、熱中症の予防・対処法の普及啓発等を適切に実施します。		
R4年度事業計画	<p>6～9月 市HPにて、熱中症警戒アラート及び熱中症の予防・対処法の情報を掲載しました。</p> <p>6～8月 健康体操教室をはじめとした健康推進事業の中で、参加者に対して熱中症予防の講話を実施しました。</p> <p>広報つくば7月号に熱中症予防の普及啓発記事を掲載しました。</p>		
R4年度成果指標	環境要因のほか、栄養状態不良による熱中症を予防するための情報を市HP及び広報つくばで普及啓発する。	目標値	

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	つくスマ、SNS等を活用し、周知啓発の場を増やすことが必要です。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・6月から9月にかけて、市ホームページにおいて熱中症警戒アラート及び熱中症の予防・対処法の周知啓発を行いました。さらに、7月より市ホームページのトップページ上に、熱中症警戒を促す告知を行いました。 ・市報7月号に、栄養状態不良による熱中症を予防するための情報を掲載しました。 ・高齢者を対象とした運動教室や地域での健康体操教室で、熱中症予防講話を106回延べ996名に実施し、水分補給の方法等について啓発しました。 	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	市ホームページや運動教室等での熱中症アラートの周知と注意喚起および、市報において栄養状態不良による熱中症を予防するための情報発信を行いました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	周知啓発の場を増やすことが必要です。	
改善目標	つくスマ、SNS等を活用し、周知啓発します。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	周知以外にも、何か市のバックアップがあるとよいと思います。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	6～9月 市のHPにて、熱中症警戒アラート及び熱中症の予防・対処法の情報の掲載 6～8月 健康体操教室をはじめとした健康推進事業の中で、参加者に対して熱中症予防の講話を実施 広報つくば7月号に熱中症予防の普及啓発記事を掲載 つくスマ、SNS等を活用して、熱中症予防の普及啓発を掲載		
R5年度 成果指標	環境要因のほか、栄養状態不良による熱中症を予防するための情報を市HP、広報つくば、SNS等で普及啓発します。	目標値	—

施策番号	15	(1-4)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する
将来像	異常気象や災害に対して、強靱で柔軟性のあるまち（レジリエンスのあるまち）となっています。
施策の柱	1-4 気候変動への適応
施策の方向性	気候変動から農業を守る

事業概要				
担当課・室	経済部 農業政策課			
事業の目的	気候変動の影響による農作物の収量や品質の低下が懸念されるため、高温影響を軽減する技術や高温耐性品種などの適応方策の周知や、温暖化による影響の実態把握することで農業への影響の低減に努めます。			
事業の概要	国、県、研究機関等の農業部門から、高温影響を軽減する技術や高温耐性品種などの適応方策、温暖化による影響の実態について情報収集を行い、把握した情報を農業者に発信していきます。			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県、研究機関等の農業部門が発信する高温影響を軽減する技術や高温耐性品種などの適応方策、温暖化による影響の実態等に関する情報の収集を行います。 ・高温影響を軽減する技術や高温耐性品種などの適応方策に関する情報を市ホームページや広報つくば、区会回覧等を活用し、農業者に発信します。 			
R4年度成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">市ホームページ等での周知</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">目標値</td> <td style="width: 30%;">市ホームページ 1回掲載</td> </tr> </table>	市ホームページ等での周知	目標値	市ホームページ 1回掲載
市ホームページ等での周知	目標値	市ホームページ 1回掲載		

進捗状況・実績

上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	・農業者への情報の周知について、市ホームページ、広報つくば、区会回覧と合わせ、効果的及び効率的に農業者に発信できる方法を検討します。
年間 (4～3月分)	温暖化による農作物への影響について農業者から情報収集を行いました。が、収量や品質の低下などについての情報がなかったため、ホームページ等での周知はしていません。	

目標に対する年度末の達成状況及び成果

評価	未達成であった	
2	農業者から、温暖化による農作物の収量や品質の低下について報告がなかったため、ホームページ等での周知はしていません。	

課題及び次年度へ向けた改善目標

課題	現状、環境省や研究機関等のホームページから温暖化による情報収集をしているだけなので、当該機関の担当部署と具体的な内容についての情報交換等も行っていく必要があります。	
改善目標	国、県、研究機関等の農業部門とオンライン等による情報収集や意見交換を進めます。	

つくば市環境審議会の意見

評価	未達成であった	
2	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県、研究機関等の農業部門が発信する高温影響を軽減する技術や高温耐性品種などの適応方策、温暖化による影響の実態等に関する情報の収集を行います。 ・高温影響を軽減する技術や高温耐性品種などの適応方策に関する情報を市ホームページや広報つくば、農業推進委員による回覧等を活用し、農業者に発信します。 		
R5年度 成果指標	市ホームページ等での周知	目標値	市ホームページ 1回掲載

施策番号

19 (2-1)

関連施策番号

■ 令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票 ■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ
将来像	筑波山や牛久沼、里地里山などの美しい景観が維持され、在来の多様な生き物が息づいています。多くの人々が自然の恩恵を実感し、つくば市の重要な自然を理解し、大切に思いながら生活を送っています。
施策の柱	2-1 生き物・生態系の保全
施策の方向性	森林の維持・保全

事業概要	
担当課・室	経済部 農業政策課 鳥獣対策・森林保全室
事業の目的	地域に介在する平地林や里山等が持つ公益的機能と美しい景観を回復するため、森林整備（下刈り・除間伐等）を行います。整備後、土地所有者と管理協定を締結し、その機能と景観を保持することで身近なみどりの環境づくりを推進します。
事業の概要	森林所有者から整備要望のあった荒廃した山林について、市が下刈り、除伐などの整備を行います。 施業後10年間は市と森林所有者との協定に基づき、森林所有者が維持管理を行います。
R4年度事業計画	6月から8月に現地調査 10月に森林整備業務委託の発注手続き 1月から3月で森林整備を実施
R4年度成果指標	森林保全協定を締結した森林面積
	目標値 10ha

進捗状況・実績

上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備実施のための調査・設計委託業務を完了しました。 大穂地区 4筆0.6277ha 桜地区 2筆0.025ha 荃崎地区 5筆0.8386ha 合計 11筆1.4913ha <ul style="list-style-type: none"> ・里山林整備推進事業で森林整備を実施しました。 大穂地区 4筆0.6277ha 桜地区 2筆0.025ha 荃崎地区 5筆0.8386ha 合計 11筆1.4913ha <p>森林保全協定締結数：大穂地区4件、桜地区1件、荃崎地区4件 合計9件</p>	

目標に対する年度末の達成状況及び成果

評価	一部未達成であった
3	要望が想定していた件数よりも少なかったため、目標を達成できませんでした。

課題及び次年度へ向けた改善目標

課題	市ホームページ等で事業の周知を行ったが、当初の予定より要望が少なく、森林整備面積が少なかったです。
改善目標	担当課で管理している林地台帳を活用し、積極的に事業の案内文書を送付することで、事業参加の要望の募る必要があります。

つくば市環境審議会の意見

評価	一部未達成であった
3	特になし。

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・6月から9月に森林の現地調査（選木、境界確認等）を実施する。 ・6月から9月に市と森林所有者とで森林保全協定を締結する。 ・1月から3月に森林整備を実施する。 ・翌年度から10年間は森林所有者が適正に管理する。 		
R5年度 成果指標	森林保全協定を締結した森林面積	目標値	10ha

施策番号	21	(2-1)
------	----	-------

関連施策番号			
--------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ
将来像	筑波山や牛久沼、里地里山などの美しい景観が維持され、在来の多様な生き物が息づいています。多くの人々が自然の恩恵を実感し、つくば市の重要な自然を理解し、大切に思いながら生活を送っています。
施策の柱	2-1 生き物・生態系の保全
施策の方向性	外来種対策の推進

事業概要				
担当課・室	生活環境部 環境保全課			
事業の目的	外来種の侵入を防ぎ、必要に応じて防除等の措置を行い、生活環境被害を防止します。			
事業の概要	市民の協力により、外来種の侵入抑制・防除に関する対策を図ります。			
R4年度事業計画	特定外来生物（アライグマ）防除のための箱ワナの市保有数を増やし、市民への貸出数を増やす等、市民と協力し被害（相談件数）の減少に努めます。今年度は、相談の件数、内容について把握・整理します。 ホームページ等による外来種対策の啓発や外来植物の抜き取りなど、防除に努めます。			
R4年度成果指標	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">（参考） 特定外来生物（アライグマ）の捕獲頭数</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">目標値</td> <td style="width: 20%;">（参考） 200頭</td> </tr> </table>	（参考） 特定外来生物（アライグマ）の捕獲頭数	目標値	（参考） 200頭
（参考） 特定外来生物（アライグマ）の捕獲頭数	目標値	（参考） 200頭		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	貸出希望が集中した5月には、一時箱ワナが不足したことから、新たに箱ワナの購入等を検討し、今後の貸出希望に対応します。 生息頭数が増加していると推定される現状において、単純に捕獲等数を目標とするのは適切ではないことから、今後の指標を検討するうえで、今年度は相談の件数、内容について把握・整理します。
年間 (4～3月分)	<p>アライグマ捕獲頭数314頭（前年度捕獲頭数206頭、参考：前々年度243頭） 貸し出し可能な箱ワナの拡充（43基）、市ホームページ等での継続的な箱ワナ貸出制度の周知により、箱ワナの貸出回数も242件（前年度貸出し回数177件）と増加しました。また捕獲実績は、前年度、前々年度と比べても増加傾向となりました。</p> <p>今年度の相談の件数、内容を把握し、苦情相談件数として整理を実施しました。 苦情相談件数＝ワナ貸出人数（※1）166名＋アライグマ回収の依頼人数（※2）89名＝255名 ※1 同一住所の複数貸出は1名として計算 ※2 同一住所の複数回収は1名として計算、またワナ貸出者との重複は除く 今後の指標としての妥当性について確認を実施していく必要があります。</p>	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	貸し出し可能な箱ワナを増やし、市ホームページ等で箱ワナ貸出制度の周知をしたことで、箱ワナの貸出回数も242件（前年度貸出し回数177件）と増加し、捕獲実績は、前年度、前々年度と比べても増加傾向となりました。また今年度の相談の件数、内容について把握、整理を実施しました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	捕獲数が増加傾向にあるのは、捕獲数以上に生息数が増加していると思われるため、第一に現在の苦情相談内容を把握し、防除対策を行う必要があります。	
改善目標	つくば市内のアライグマの生息数を減少させるための対策を実施するにあたり、苦情発生状況の把握や、近隣の自治体の対応状況や専門家の意見を聴取するなど、継続的な情報収集と捕獲強化が必要と考えます。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	外来種の防除において、捕獲頭数は、目安にはなりません。減少したかどうか重要なため、被害額、あるいは捕獲率、それらを組み合わせたもの等を指標とするとよいと思います。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	外来種の生息情報を収集・整理します。外来種の情報・対策について、ホームページ等により市民に分かりやすく伝えます。		
R5年度 成果指標	市のホームページにおいて外来種に関する情報を充実させます。	目標値	—

施策番号	22	(2-1)
------	----	-------

関連施策番号			
--------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ
将来像	筑波山や牛久沼、里地里山などの美しい景観が維持され、在来の多様な生き物が息づいています。多くの人々が自然の恩恵を実感し、つくば市の重要な自然を理解し、大切に思いながら生活を送っています。
施策の柱	2-1 生き物・生態系の保全
施策の方向性	生物多様性つくば戦略（仮称）の策定[重点施策]

事業概要			
担当課・室	生活環境部 環境保全課		
事業の目的	将来にわたって自然の恵みを楽しみ生物多様性を保全していくために、市内の生物多様性の現状を把握し、生物多様性の保全及び持続可能な社会を推進します。		
事業の概要	つくば市の生物多様性の保全やその持続可能な社会に資する戦略を策定します。ポスト愛知目標を念頭に置きながら、つくば市内の生物多様性の現状把握を行うとともに、県や研究機関、市関連部署との連携を図り、さらに市民の参加を得ながら、生物多様性つくば戦略を策定します。		
R4年度事業計画	生物多様性つくば戦略策定懇話会を円滑に運営します。 生物基礎データの収集・整理方法を検討します。 ワークショップ、市民アンケートの実施を検討します。		
R4年度成果指標	円滑な生物多様性つくば戦略策定懇話会の運営	目標値	

進捗状況・実績	
上半期 (4～9月分)	課題、改善が必要な点 動植物の既存調査結果や市の関連各種計画の内容とそれに係る制度等の整理など、生物多様性の観点から盛り込むべき事項が多種多様かつ膨大な量であることから、専門家等のアドバイスを受けながら計画的に進める必要があります。観光、農業、都市計画などの庁内各課との調整も重要となります。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・4月：懇話会市民委員3名を選定 ・6月：策定懇話会の委員委嘱（学識経験者6名、県1名、市民委員3名） ・7月：第1回生物多様性つくば戦略策定懇話会を開催 ・10月：生物多様性基礎調査委託契約 ・11月：第2回生物多様性つくば戦略策定懇話会を開催 ・2月：意見交換会に出席（筑波大学・日本自然保護協会主催） ・3月：第3回生物多様性つくば戦略策定懇話会を開催 ・3月：地域戦略策定支援業務委託プロポーザル方式による業者選定実施 ・3月：地域戦略策定支援業務委託契約締結
目標に対する年度末の達成状況及び成果	
評価	おおむね目標どおり達成した
4	生物多様性つくば戦略策定懇話会を3回（7月、11月、3月）開催し、様々な意見を収集できました。
課題及び次年度へ向けた改善目標	
課題	戦略策定には、動植物の既存調査結果や市の関連各種計画の内容とそれに係る制度等の整理など、生物多様性の観点から盛り込むべき事項が多種多様であることから、懇話会や市民団体等からのアドバイスを受けながら進める必要があります。
改善目標	令和5年度から策定支援業務委託が開始され、本格的に策定に向け動き出します。懇話会、市民団体など、関係者との連携を密にとり、スケジュール管理を適切に行います。
つくば市環境審議会の意見	
評価	おおむね目標どおり達成した
4	特になし。

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	生物多様性つくば戦略策定懇話会を円滑に運営します。 生物多様性に関する市民意識の把握のための市民アンケートを実施します。 庁内の生物多様性に関する取組・事業を把握し、連携を図ります。		
R5年度 成果指標	円滑な生物多様性つくば戦略策定懇話会の運営	目標値	—

施策番号	24	(2-2)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ
将来像	筑波山や牛久沼、里地里山などの美しい景観が維持され、在来の多様な生き物が息づいています。多くの人々が自然の恩恵を実感し、つくば市の重要な自然を理解し、大切に思いながら生活を送っています。
施策の柱	2-2 里地里山景観の保全
施策の方向性	山・川などの眺望の維持

事業概要			
担当課・室	都市計画部 都市計画課		
事業の目的	良好な景観の形成、風致の維持及び公衆への危険防止を図ります。		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・つくば市屋外広告物条例に基づく許可を行います。併せて、条例の周知、違反広告物に対する是正指導及び簡易除却対象広告物の定期的な除却を行います。 ・景観法に基づき、「つくば市景観条例」で定める一定規模を超える建築行為等について、計画内容を届けさせ、「つくば市景観計画」に定める「景観形成基準（形態意匠、色彩、緑化等）」との適合を審査します。 		
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・つくば市屋外広告物条例を適正に運用していきます。 ・簡易除却対象広告物については、業務委託及び市職員による定期的なパトロールの実施を行います。併せて、ボランティア団体が、各地区で違反広告物の除却活動を行います。 ・一定規模を超える建築行為等について、「景観形成基準（形態意匠、色彩、緑化等）」との適合を審査します。 		
R4年度成果指標	簡易除却対象広告物確認のパトロール実施回数	目標値	32回以上

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> つくば市屋外広告物条例に基づく許可申請等285件について許可しました。 つくば市違反広告物等是正事務処理要領に基づき、市内の交差点に設置された違反広告物について、8月、9月に指導を実施し、10件是正されました。残りの9件については、継続して是正指導していきます。 簡易除却対象広告物確認のパトロールは、市職員18回、業務委託7回、合計25回実施し、合計46件の違反広告物を除却しました。 ボランティア団体による除却活動は、9団体により、合計15回実施、合計34件除却しました。 一定規模を超える建築行為等について、57件の審査を行いました。 	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	簡易除却対象広告物確認のパトロール実施回数については、市職員18回、業務委託7回、ボランティア団体15回実施することができ、良好な景観の形成、風致の維持及び公衆への危険防止を図ることができました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	簡易除却対象広告物について、除却数は昨年度より減少しているが、100件近く見受けられます。	
改善目標	市職員のパトロールだけでなく、引き続き業務委託によるパトロールも実施します。また、ボランティア団体によるパトロールも有効であることから、広報つくばや市ホームページの掲載内容の見直しを行い、引き続き団体の募集を行います。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> つくば市屋外広告物条例を適正に運用していきます。 簡易除却対象広告物については、業務委託及び市職員による定期的なパトロールの実施を行います。併せて、ボランティア団体が、各地区で違反広告物の除却活動を行います。 一定規模を超える建築行為等について、「景観形成基準（形態意匠、色彩、緑化等）」との適合を審査します。 		
R5年度 成果指標	簡易除却対象広告物確認のパトロール実施回数	目標値	32回以上

施策番号

25(1)

(2-2)

関連施策番号

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ

基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ		
将来像	筑波山や牛久沼、里地里山などの美しい景観が維持され、在来の多様な生き物が息づいています。多くの人々が自然の恩恵を実感し、つくば市の重要な自然を理解し、大切に思いながら生活を送っています。		
施策の柱	2-2	里地里山景観の保全	
施策の方向性	里地景観の維持		

事業概要

担当課・室	経済部 農業政策課		
事業の目的	○グリーンバンク事業 耕作放棄地を解消することで農地の有効利用を促進します。		
事業の概要	○グリーンバンク事業 グリーンバンク事業及び市民ファーマー制度を活用し「貸し手」と「借り手」の農地貸借に係る仲介・あっせんを行い、農地の有効利用を促進します。		
R4年度事業計画	○グリーンバンク事業 ・農地中間管理事業と併せ、登録地の仲介・あっせんを行います。 ・いばらきデジタルマップにグリーンバンク情報を公開し、年間を通じて、借手に対し、登録地の仲介・あっせんを実施します。		
R4年度成果指標	・グリーンバンク事業 賃借契約の成立面積	目標値	・6.0ha

進捗状況・実績

上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	・登録から時間が経過した農地が多く、現状と登録内容が異なる農地が見受けられるので、登録内容の精査が課題となっています。
年間 (4～3月分)	【グリーンバンク】 グリーンバンクの成立件数は、23件です。 グリーンバンク貸借契約の成立面積は、4.3haです。	

目標に対する年度末の達成状況及び成果

評価	一部未達成であった	
3	・グリーンバンク契約件数が去年と比べ減少し、面積は目標に至りませんでした。	

課題及び次年度へ向けた改善目標

課題	・登録から時間が経過した農地が多く、荒れている農地が見受けられます。	
改善目標	・登録農地の見直しを実施し、登録状況を整理します。	

つくば市環境審議会の意見

評価	一部未達成であった	
3	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	グリーンバンク事業 ・農地中間管理事業と併せ、登録地の仲介・あっせんを行います。 ・いばらきデジタルマップにグリーンバンク情報を公開し、年間を通じて、借手に対し、登録地の仲介・あっせんを実施します。		
R5年度 成果指標	グリーンバンク事業 賃借契約の成立面積	目標値	6.0ha

施策番号

25(2) (2-2)

関連施策番号

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ

基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ		
将来像	筑波山や牛久沼、里地里山などの美しい景観が維持され、在来の多様な生き物が息づいています。多くの人々が自然の恩恵を実感し、つくば市の重要な自然を理解し、大切に思いながら生活を送っています。		
施策の柱	2-2	里地里山景観の保全	
施策の方向性	里地景観の維持		

事業概要

担当課・室	経済部 農業政策課 鳥獣対策・森林保全室		
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥獣被害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・筑波山を含めた筑波地区におけるイノシシ被害を軽減します。 ・市内におけるカラス被害を軽減します。 		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥獣被害対策 <ul style="list-style-type: none"> 第2次つくば市鳥獣被害防止計画に基づき、対象鳥獣による被害を防止します。 		
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥獣被害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・第2次つくば市鳥獣被害防止計画に基づく有害鳥獣捕獲を実施します。 ・イノシシ等の有害鳥獣捕獲委託事業を実施します。 ・報奨金制度等によるイノシシ等の有害鳥獣捕獲支援を実施します。 		
R4年度成果指標	鳥獣による農作物被害金額 イノシシ及びカラスの捕獲頭数	目標値	8,723千円 イノシシ 550頭 カラス 350羽

進捗状況・実績

上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。	
年間 (4～3月分)	イノシシ捕獲状況 第1回有害鳥獣捕獲事業 実施期間：4月25日～5月24日まで 捕獲頭数：15頭 第2回有害鳥獣捕獲事業 実施期間：8月19日～10月6日まで 捕獲実績：55頭 第3回有害鳥獣捕獲事業 実施期間：10月7日～10月17日まで 捕獲実績：7頭 イノシシ捕獲報奨金制度 実施期間：11月15日～2月15日まで 捕獲実績：150頭 第4回有害鳥獣捕獲事業 実施期間：2月16日～3月17日まで 捕獲実績：30頭 計 257頭 カラス捕獲状況 合計：440羽 鳥獣による農作物被害見込金額(暫定値) 9,221千円		

目標に対する年度末の達成状況及び成果

評価	一部未達成であった		
3	鳥獣による農作物被害金額 イノシシ捕獲頭数 カラス捕獲数	目標8,723千円に対し実績5,502千円 目標550頭に対し実績257頭 目標350羽に対し実績440羽	目標達成 目標未達成 目標達成

課題及び次年度へ向けた改善目標

課題	豚熱のまん延などの影響によりイノシシ捕獲数が前年度よりも減少し、目標未達成となりました。		
改善目標	鳥獣被害防止対策協議会と連携し、被害状況等の情報を活用し更なる被害防止を推進します。		

つくば市環境審議会の意見

評価	一部未達成であった		
3	特になし。		

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	○鳥獣被害対策 ・第3次つくば市鳥獣被害防止計画に基づく有害鳥獣捕獲を実施します。 ・イノシシ等の有害鳥獣捕獲委託事業を実施します。 ・報奨金制度等によるイノシシ等の有害鳥獣捕獲支援を実施します。 ・「茨城県アライグマ防除実施方針」に基づくアライグマの防除を実施します。		
R5年度 成果指標	鳥獣による農作物被害金額 イノシシ及びカラス、アライグマの捕獲頭数	目標値	7,194千円 イノシシ 370頭 カラス 350羽 アライグマ 300頭

施策番号	26	(2-3)
------	----	-------

関連施策番号			
--------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ
将来像	貴重な自然や緑豊かな街並みが将来にわたり守られるよう、平地林や農地、公園、庭の緑などを守り、育て、ふれあう取組が協働で進んでいます。
施策の柱	2-3 都市の緑を増やし、質を高める
施策の方向性	都市公園・緑の管理

事業概要				
担当課・室	建設部 公園・施設課			
事業の目的	景観及び機能を維持し市民に潤いと憩いの場を提供します。			
事業の概要	都市公園・都市緑地・その他の公園について、一年を通して計画的に植栽維持管理を行います。また、季節に応じた植栽管理や在来種の維持など、可能な限り生物多様性を確保した維持管理を行います。			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・公園植栽の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> 4月 契約業者と現場調査 9月 現状把握及び中間検査 3月 状況確認及び完了検査 ・翌年維持管理計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> 9月 現状把握 10月 維持管理計画の策定（季節に応じた維持管理や在来種の維持など） 			
R4年度成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">公園植栽の維持管理</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">目標値</td> <td style="width: 30%;">354公園</td> </tr> </table>	公園植栽の維持管理	目標値	354公園
公園植栽の維持管理	目標値	354公園		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	<p>・357か所の公園及び緑地の維持管理を実施しました。</p> <p>主な事業</p> <p>4月 維持管理業者に、現場説明を実施しました。</p> <p>5月～12月 芝刈りを実施しました。</p> <p>10月 中間検査の実施、来年度の植栽維持管理の予算化しました。</p> <p>12月～3月 在来種の樹木等の剪定を実施しました。</p> <p>3月 現地確認、完了検査を実施しました。</p>	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	市民の要望等を調整しながら、公園及び緑地植栽の維持管理が実施できました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	供用開始から40年以上経過し、樹木の巨大化、老木化が進んでいるため、適切な剪定の実施や専門家による点検が必要となっています。	
改善目標	年に2回、樹木点検を実施し、異常が見られた樹木については、樹木医による診断を実施し、適正な樹木管理を実施します。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<p>都市公園・都市緑地・その他の公園について、一年を通して計画的に植栽維持管理を行います。</p> <p>・公園植栽の維持管理</p> <p>4月 契約業者と現場調査</p> <p>9月 現状把握及び中間検査</p> <p>3月 状況確認及び完了検査</p> <p>・翌年維持管理計画の策定</p> <p>9月 現状把握</p> <p>10月 維持管理計画の策定（季節に応じた維持管理や在来種の維持など）</p>		
R5年度 成果指標	公園及び緑地植栽の維持管理	目標値	360公園

施策番号	27	(2-3)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ
将来像	貴重な自然や緑豊かな街並みが将来にわたり守られるよう、平地林や農地、公園、庭の緑などを守り、育て、ふれあう取組が協働で進んでいます。
施策の柱	2-3 都市の緑を増やし、質を高める
施策の方向性	都市域の緑の確保

事業概要			
担当課・室	経済部 産業振興課		
事業の目的	緑豊かな街並みを確保するため、市内新規立地企業の敷地内の緑化を推進します。		
事業の概要	市内新規立地企業に対して、工場立地法に基づく指導をすることにより、敷地内の緑地率向上を図ります。		
R4年度事業計画	新規立地企業に対して、工場立地法に基づき緑地の整備を指導します。		
R4年度成果指標	新規立地企業の敷地内緑地率	目標値	敷地内緑地率20%以上

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	市内への新規立地企業等による工場立地法の届出や相談等に対し、適正に対応しました。 ・工場立地法(変更)の届出件数：6件 ・法令解釈等の相談件数：6件	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	工場等の新規立地時に加え、増築等の土地の形状の変更時においても、適正な指導等を実施し、目標値である「敷地内の緑地率20%以上」を達成することができました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	なし	
改善目標	なし	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	新規立地企業に対して、工場立地法に基づき緑地の整備を指導します。		
R5年度 成果指標	工場立地法が対象となる新規立地企業の敷地内緑地率	目標値	敷地内緑地率20%以上

施策番号	28	(2-3)
-------------	----	-------

関連施策番号	26(2-3)		
---------------	---------	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ
将来像	貴重な自然や緑豊かな街並みが将来にわたり守られるよう、平地林や農地、公園、庭の緑などを守り、育て、ふれあう取組が協働で進んでいます。
施策の柱	2-3 都市の緑を増やし、質を高める
施策の方向性	都市域の緑の確保

事業概要				
担当課・室	建設部 公園・施設課			
事業の目的	市民の憩いの場の創出を図り、文化的で充実した住環境のまちづくりを推進します。			
事業の概要	つくばエクスプレス沿線開発地区の区画整理事業の進捗に合わせ公園・緑地等を整備します。			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・街区公園2公園の供用を開始します。 8月 かみかわ西公園 3月 たかやま東公園 			
R4年度成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">新規公園面積</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">目標値</td> <td style="width: 30%;">0.7ha</td> </tr> </table>	新規公園面積	目標値	0.7ha
新規公園面積	目標値	0.7ha		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	・土地区画整理事業施行者の公園整備のスケジュール変更に伴って、街区公園の供用開始は令和5年度上半期に延期となりました。	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	未達成であった	
2	土地区画整理事業地内で整備する街区公園の工事遅延により、土地区画整理事業施行者からの公園引渡しが遅れていることから供用開始ができなかったが、今後、速やかに供用開始ができるよう関係機関と調整を図ります。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	土地区画整理事業施行者の公園整備のスケジュールが流動的で、市民へのアナウンスが難しい状況です。	
改善目標	土地区画整理事業地内で整備する街区公園等について、関係機関と密に協議を行うことにより、正確に市民への供用開始のアナウンスができるよう調整を行います。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	未達成であった	
2	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	つくばエクスプレス沿線開発地区の区画整理事業の進捗に合わせ公園・緑地等を整備します。 ・街区公園2公園、近隣公園1公園の供用を開始します。 6月 みどりの東近隣公園 8月 かみかわ西公園 3月 たかやま東公園		
R5年度 成果指標	新規公園面積	目標値	1.5ha

施策番号	29	(2-3)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ
将来像	貴重な自然や緑豊かな街並みが将来にわたり守られるよう、平地林や農地、公園、庭の緑などを守り、育て、ふれあう取組が協働で進んでいます。
施策の柱	2-3 都市の緑を増やし、質を高める
施策の方向性	都市域の緑の確保

事業概要			
担当課・室	教育局 教育施設課		
事業の目的	学校施設において、校庭の芝生化により砂飛散の防止、地表面温度上昇の緩和、転倒時の怪我防止等に寄与します。 また、児童生徒の学習活動の一助とするため、校内の植物・生物の生育環境を維持管理します。		
事業の概要	学校施設において、校庭の芝生、緑地等の維持管理を行います。 新增築等の建設計画の際には、適切な植栽計画を検討します。		
R4年度事業計画	校内の植栽の維持管理に努め、芝生の管理、植栽の剪定等を行います。 校舎の新增築計画にあわせて、適切な植栽計画を検討します。		
R4年度成果指標	適切な植栽配置の検討及び適正な維持管理の実施	目標値	

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ●以下のとおり業務委託を発注しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・樹木剪定業務（廃校含む）：延べ55校8園 ・樹木害虫駆除及び防虫処理24校2園 ・芝管理業務：11校（学校別に、年度内に2～3回の芝刈り・除草・施肥を行う） また、幼稚園2園については、芝の状況を鑑みて各1回の芝刈等委託を実施。 ○新設校の建設にあたり、植栽整備を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> （いずれも令和4年度内完成） ・香取台小学校 ・研究学園小学校 ・研究学園中学校 	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	<p>芝生整備校において、芝の適正な維持のため、管理業務を発注しました。各校、年3回の芝刈り・除草・施肥を委託しています。（吉沼小、葛城小、上郷小、九重小、東小、竹園東小、春日学園、桜中、秀峰筑波、学園の森、みどりの学園）</p> <p>また、豊里の杜幼稚園（予定地）及び並木幼稚園（廃園）の2園については、芝の状況に鑑みて各年1回の芝刈等委託を実施しました。</p> <p>芝以外の樹木については、適切な植栽管理に努め、校内の植物・生物の生育環境の維持管理に寄与しました。新設校建設にあたり、令和4年度末完成の3校について植栽の整備を行いました。</p>	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	植栽維持管理について、教員の働き方改革等の観点から植栽剪定等を業者へ委託する機会が増えており、植栽の維持管理費の負担増加が課題です。	
改善目標	引き続き、植栽の適正な計画及び管理に努めます。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■事業計画及び概要：本年度、校内の植栽の維持管理に努め、芝生の管理、植栽の剪定等を行います。 校舎の新增築計画にあわせて、適切な植栽計画を検討します。 ■事業目的：学校施設において、校庭の芝生化により砂飛散の防止、地表面温度上昇の緩和、転倒時の怪我防止等に寄与します。 また、児童生徒の学習活動の一助とするため、校内の植物・生物の生育環境を維持管理します。 		
R5年度 成果指標	適切な植栽配置の検討及び適正な維持管理の実施	目標値	—————

施策番号	30	(2-3)
------	----	-------

関連施策番号			
--------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ
将来像	貴重な自然や緑豊かな街並みが将来にわたり守られるよう、平地林や農地、公園、庭の緑などを守り、育て、ふれあう取組が協働で進んでいます。
施策の柱	2-3 都市の緑を増やし、質を高める
施策の方向性	市民参加による緑化活動

事業概要				
担当課・室	建設部 公園・施設課			
事業の目的	公園緑地に対する愛護意識の高揚及び環境美化			
事業の概要	空き缶やゴミ等の収集、除草、清掃、植栽の企画提案及び実施			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・アダプト・ア・パーク事業 4・5月 清掃用具などの配布 4～3月 周知活動 5～8月 制度内容の見直し 2・3月 活動報告書提出依頼 			
R4年度成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">アダプト・ア・パーク参加団体数</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">目標値</td> <td style="width: 30%;">39団体</td> </tr> </table>	アダプト・ア・パーク参加団体数	目標値	39団体
アダプト・ア・パーク参加団体数	目標値	39団体		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	・団体数の維持や増加を図る必要があるため、実施要綱の見直しやホームページやチラシ作成による周知活動を実施します。
年間 (4～3月分)		<ul style="list-style-type: none"> ・41団体（うち1団体休止中）がのべ69公園で活動しました。 ・22団体（自治会・老人会・民間企業・地域の住民・子ども会・NPO法人など）に清掃用具などを配布しました。 ・11月から「つくば市緑の表彰」の募集を行い、「緑の市民協同部門」に4団体、「緑の事業活動部門」に1団体応募がありました。 ・3月に各団体に事業報告等の依頼を出しました。
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	令和4年度は令和3年度と比較して、参加団体数が2団体増えたためです。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	アダプト・ア・パーク事業がまだ市民に広く認知されていないことです。	
改善目標	登録団体数の増加を目指し、チラシを新規作成し、窓口配布や区会に回覧を実施することで周知を図ります。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	公園緑地に対する愛護意識の高揚及び環境美化 （空き缶やゴミ等の収集、除草、清掃、植栽の企画提案及び実施） ・アダプト・ア・パーク事業 4・5月 清掃用具などの配布 4～3月 周知活動 6～9月 チラシの作成 2・3月 活動報告書提出依頼		
R5年度 成果指標	アダプト・ア・パーク参加団体数	目標値	42団体

施策番号	31	(2-3)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ
将来像	貴重な自然や緑豊かな街並みが将来にわたり守られるよう、平地林や農地、公園、庭の緑などを守り、育て、ふれあう取組が協働で進んでいます。
施策の柱	2-3 都市の緑を増やし、質を高める
施策の方向性	市民参加による緑化活動

事業概要			
担当課・室	市民部 市民協働課		
事業の目的	参加者が自主的な花壇活動を行うことで、まちの環境美化意識を高めるとともに地域コミュニティの活性化を図ります。		
事業の概要	公共的な空間を季節の花で飾るとともに、市内の環境美化を行うため、地域で活動する団体へ花苗を配布し、市民協働による花壇等の維持管理を行います。		
R4年度事業計画	5月下旬～6月上旬 春の花苗配布 10月下旬～11月上旬 秋の花苗配布		
R4年度成果指標	花苗配布団体数	目標値	145

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	<p>【上半期】春の花苗配布については、昨年度より7団体多い151団体へ9,005ポットを、計画通り3日間で配布しました。</p> <p>【下半期】秋の花苗配布については、昨年度より7団体多い147団体へ8,860ポットを、計画通り3日間で配布しました。</p> <p>上記に加えて、センター地区花壇に年間を通して1,200ポットを花植えし、合計して団体へ19,065ポットを配布しました。</p>	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	目標を大幅に超えて達成した	
5	花苗配布については、春・秋ともに目標値を超える145以上の団体へ合計19,065ポット配布することができました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	来訪者への歓迎の気持ちを発信できるように、より公共的な空間で花を管理していただく方法を検討する必要があります。また、参加団体を増やすために、予算効率の向上を図る必要があります。	
改善目標	より多くの参加団体に花苗の配布ができるよう、現在より安価でありながら来訪者への歓迎の気持ちを伝えられるような花を選定するとともに、より公共的な空間に花壇を設置するための情報提供を行うことで、活動団体の意欲向上に努めます。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	目標を大幅に超えて達成した	
5	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	5月下旬～6月上旬 春の花苗配布 10月下旬～11月上旬 秋の花苗配布		
R5年度 成果指標	花苗配布団体数	目標値	150

施策番号	32	(2-3)
------	----	-------

関連施策番号			
--------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ
将来像	貴重な自然や緑豊かな街並みが将来にわたり守られるよう、平地林や農地、公園、庭の緑などを守り、育て、ふれあう取組が協働で進んでいます。
施策の柱	2-3 都市の緑を増やし、質を高める
施策の方向性	開発に伴う緑地の減少を抑制

事業概要			
担当課・室	都市計画部 都市計画課		
事業の目的	地区の特性にふさわしい良好な都市環境の形成・保持のため、きめ細やかな土地利用の誘導を図ります。		
事業の概要	地区計画で用途、敷地面積の最低限度、壁面の位置、緑化率、垣・さくの構造等の制限を定めます。		
R4年度事業計画	研究学園地区における公務員宿舎等跡地等について、地区計画の決定を行います。		
R4年度成果指標	地区計画決定に向けた打合せを行います。	目標値	-

進捗状況・実績

上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	関係課との協議を踏まえて作成した大穂地区地区計画及び吾妻第四地区地区計画の原案について、都市計画決定の手続を進め、つくば市都市計画審議会にて可決され、令和5年2月21日に都市計画決定しました。	

目標に対する年度末の達成状況及び成果

評価	—
—	引き続き必要に応じて担当課・機関との協議を行っていきます。

課題及び次年度へ向けた改善目標

課題	課題なし
改善目標	—

つくば市環境審議会の意見

評価	—
—	特になし。

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	研究学園地区における公務員宿舎等跡地等について、地区計画の決定を行います。		
R5年度 成果指標	地区計画決定に向けた打合せを行います。	目標値	—

施策番号

33 (2-4)

関連施策番号

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ

基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ	
将来像	貴重な自然や緑豊かな街並みが将来にわたり守られるよう、平地林や農地、公園、庭の緑などを守り、育て、ふれあう取組が協働で進んでいます。	
施策の柱	2-4	自然とふれあう
施策の方向性	自然体験施設の活用・運営	

事業概要

担当課・室	経済部 観光推進課		
事業の目的	各施設の良い自然環境を活用した誰もが気軽に参加できる芋掘り体験などを通じて、自然と触れ合うきっかけづくりを目的に実施しています。		
事業の概要	筑波ふれあいの里、豊里ゆかりの森でサツマイモ掘り、しめ縄作り、ガーデニングなどを行います。ふれあいの里でのそば打ち体験及び染色体験は、昨年度に続き今年度もコロナ感染拡大防止のため休止します。		
R4年度事業計画	<p>【筑波ふれあいの里】</p> <p>サツマイモ掘り 5回</p> <p>【豊里ゆかりの森】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペースキャビンの改修など、適切な施設の管理を行います。 ・施設の特性をいかし、ジャガイモ掘り、しめ縄作り等の体験や陶芸、ガーデニング等の教室活動を実施します。 ・6月 ジャガイモ掘り 1回 ・10月 サツマイモ掘り 1回 ・12月 しめ縄作り 1回 ・陶芸等の体験事業 ガーデニング、陶芸等各種教室の開催 		
R4年度成果指標	【筑波ふれあいの里】体験事業参加者数 【豊里ゆかりの森】実施回数、参加者	目標値	【筑波ふれあいの里】100名 【豊里ゆかりの森】実施回数：55回、参加者数：688名

進捗状況・実績	
上半期 (4～9月分)	<p>課題、改善が必要な点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場にWi-Fi環境がないため、整備を行い、利用者の利便性や快適性を図る必要があります。 ・各施設の老朽化が進んでいるため、改修を行い、施設の魅力の向上を図る必要があります。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参加者が減少していたため、収穫体験イベントは、参加人数や時間を分け実施し、教室活動については、回数を増やすなど参加の機会拡大を促す必要があります。
年間 (4～3月分)	<p>【筑波ふれあいの里】 サツマイモ掘り参加者数 ・11月12日・・・18名、11月13日・・・28名、11月20日・・・30名、12月4日・・・36名 12月11日・・・25名 合計137名</p> <p>【豊里ゆかりの森】 年間を通して通常受入実施。コンテナガーデン教室などの各種教室やサツマイモ堀等のイベントを実施しました。 全48回、計1,160名</p> <ul style="list-style-type: none"> ●体験(3回 483名) ジャガイモ堀体験：1回219名、サツマイモ堀体験：1回226名 しめ縄づくり体験：1回38名 ●教室(45回 677名) コンテナガーデン教室：8回109名、陶芸教室：20回163名、昆虫教室：17回405名
目標に対する年度末の達成状況及び成果	
評価	おおむね目標どおり達成した
4	<p>【筑波ふれあいの里】 サツマイモ堀体験は、参加者137名で目標を達成し、多くの施設利用者に作物収穫の喜びを体感してもらうことで自然とふれあうきっかけづくりができました。</p> <p>【豊里ゆかりの森】 キャンプ場の予約方法に従来からの電話受付とともに、R4年6月からインターネット予約システムを導入しました。目標55回686名に対し実績48回1,160名：おおむね目標どおり達成しました。</p>
課題及び次年度へ向けた改善目標	
課題	<p>【筑波ふれあいの里】芋掘り体験については、特に課題はありません。現在、コロナの影響で休止中のそば打ち体験、染色体験については、指導者の高齢化による指導者不足が課題となっています。</p> <p>【豊里ゆかりの森】 宿舍あかまつデッキ改修工事や工芸館展示棟内装改修等の工事期間中、施設が使用できないため、施設利用者への影響が課題となります。</p>
改善目標	<p>【筑波ふれあいの里】 体験事業再開に向けR5年度は、新たな指導者選択と事業内容を検討して結論付けます。</p> <p>【豊里ゆかりの森】 積極的にインターネット等(ホームページ)による宣伝活動を行い、集客に努めます。 また、R5年度は園路周遊コース整備工事、宿舍あかまつデッキ改修工事等をする予定(豊里ゆかりの森)となっており施設が利用できないため、理解が得られるよう施設利用者への周知を行っていきます。</p>
つくば市環境審議会の意見	
評価	おおむね目標どおり達成した
4	特になし。

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度事業内容	<p>【筑波ふれあいの里】 ・サツマイモ・インゲン豆収穫体験事業 5回</p> <p>【豊里ゆかりの森】 ・宿舍あかまつデッキ改修工事、展示棟内装改修工事、周遊コース整備工事、テニスコート改修工事、スペースキャビン改修工事(第2期)、アスレチック遊具更新工事など、適切な施設の管理を行います。 ・施設の特性をいかし、ジャガイモ掘り、しめ縄作り等の体験や陶芸、ガーデニング等の教室活動を実施します。 ・6月 ジャガイモ掘り 1回 ・10月 サツマイモ掘り 1回 ・12月 しめ縄作り 1回 ・陶芸等の体験事業 ガーデニング、陶芸等各種教室の開催</p>		
R5年度成果指標	<p>【筑波ふれあいの里】 体験事業参加者数</p> <p>【豊里ゆかりの森】 実施回数、参加者数</p>	目標値	<p>【筑波ふれあいの里】 80名</p> <p>【豊里ゆかりの森】 実施回数：55回 参加者数：700名</p>

施策番号	34	(2-4)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ
将来像	貴重な自然や緑豊かな街並みが将来にわたり守られるよう、平地林や農地、公園、庭の緑などを守り、育て、ふれあう取組が協働で進んでいます。
施策の柱	2-4 自然とふれあう
施策の方向性	自然体験施設の活用・運営

事業概要			
担当課・室	経済部 農業政策課 鳥獣対策・森林保全室		
事業の目的	高崎地区に残る豊かな自然環境を次世代に伝承するために必要な施設の維持管理、整備を行います。また、高崎自然の森が持つ豊かな自然環境と森林ボランティアを活用し里山・農山村体験事業を実施します。		
事業の概要	委託による年間の管理作業として、施設の清掃、ゴミ拾い、除草等を実施します。森林ボランティアとの協働による森林の保全管理を実施します。NPOや農業者団体との連携による自然環境教育や森林体験イベント等を年間で実施します。		
R4年度事業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設の清掃、ゴミ拾い、除草等の管理 2. 森林ボランティアによる森林保全管理 3. 森林ボランティア活動の推進 4. 活用事業（里山体験事業） 自然・田舎体験 3回/年 5. 農業団体によるブルーベリー摘み取り体験事業 摘み取り体験 9回/年 		
R4年度成果指標	体験イベント参加者数	目標値	500名

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・森林ボランティア参加人数 90名 ・里山体験事業参加人数 52名 ・ブルーベリー摘み取り体験参加人数 373名 ・ブルーベリー剪定講習会参加人数 29名 <li style="text-align: center;">合 計 544名 	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	体験イベント参加者数が目標に達したためです。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	特にありません。	
改善目標		
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	1. 施設の清掃、ゴミ拾い、除草等の管理 2. 森林ボランティアによる森林保全管理 3. 森林ボランティア活動の推進 4. 活用事業（里山体験事業） 自然・田舎体験 3回/年 5. 農業団体によるブルーベリー摘み取り体験事業 摘み取り体験 9回/年		
R5年度 成果指標	体験イベント参加者数	目標値	500名

施策番号

35 (2-4)

関連施策番号

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ

基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ	
将来像	貴重な自然や緑豊かな街並みが将来にわたり守られるよう、平地林や農地、公園、庭の緑などを守り、育て、ふれあう取組が協働で進んでいます。	
施策の柱	2-4	自然とふれあう
施策の方向性	里山や水辺の活用	

事業概要

担当課・室	生活環境部 環境政策課		
事業の目的	筑波山や里山、牛久沼などの身近な自然環境の価値や保全する意義を知ってもらうため、昔からある風景を楽しみながら歩くことができる小径（フットパスコース）の普及を進めるとともに、湧水や河川、湖沼への水のつながりに触れる機会を増やします。		
事業の概要	・湧水や河川、湖沼への水のつながりに触れる機会を増やすため、市内のフットパスコースを利用した自然環境学習をはじめとする体験型の学習を実施します。		
R4年度事業計画	・市民及び環境スタイルサポーターズ会員向けに筑波山自然環境教育事業等の体験型の学習を実施します。 ①筑波山自然環境教育事業 4回 ②桜川探検隊事業 2回		
R4年度成果指標	筑波山自然環境教育事業の実施回数及び参加者数	目標値	6回 100名

進捗状況・実績			
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	「昆虫探し大作戦」(荒天のため中止した事業)については、テーマを再考し、下半期に実施します。	
年間 (4～3月分)	<p>・市民及び環境スタイルサポーターズ会員向けに筑波山自然環境教育事業等の体験型の学習を計4回実施しました。</p> <p>①筑波山自然環境教育事業 「里山ウォーク 桜川を歩く」5月15日実施 15名 「谷津田の生き物調査」7月16日実施 10名 「昆虫探し大作戦」(荒天のため中止) 「筑波山麓の里山散策と木の葉のスケッチを通しての環境学習」11月20日実施 4名 (↑昆虫探し大作戦の代替としてテーマを再考して、事業を実施しました。) 「つくば市周辺の『自然』を感じて・学ぶツアー」3月4日実施 20名</p> <p>②桜川探検隊事業 「野外観察、カヌー体験」8月23日実施 11名 「森の虫たちの冬じたく、森のめぐみを学ぶ」11月13日実施 11名</p>		
目標に対する年度末の達成状況及び成果			
評価	一部未達成であった		
3	実施回数については、目標を達成しましたが、参加者数が少なく、目標値に届きませんでした。		
課題及び次年度へ向けた改善目標			
課題	市民ニーズを取入れながら、自然環境の価値や環境保全への意識が高まる事業を検討する必要があります。		
改善目標	市民が参加しやすいプログラムを検討します。		
つくば市環境審議会の意見			
評価	一部未達成であった		
3	特になし。		

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<p>・市民及び環境スタイルサポーターズ会員向けに自然環境教育事業等の体験型の学習を実施します。</p> <p>①筑波山自然環境教育事業 4回(里山ウォーク含む) ②桜川探検隊 2回 ③小野川探検隊 1回</p>		
R5年度 成果指標	自然環境教育事業の参加者	目標値	100名

施策番号	36	(2-4)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ
将来像	貴重な自然や緑豊かな街並みが将来にわたり守られるよう、平地林や農地、公園、庭の緑などを守り、育て、ふれあう取組が協働で進んでいます。
施策の柱	2-4 自然とふれあう
施策の方向性	筑波山地域ジオパークの活用

事業概要			
担当課・室	経済部 観光推進課 ジオパーク室		
事業の目的	地球科学的に価値の高い地質・地形を含む自然遺産を活用した教育活動やジオツアーなどを実施し、その価値を市民や来訪者に伝えることで、自然遺産の保全・保護につなげます。		
事業の概要	<p>「学校教育を通じた教育・普及活動」 ジオパーク関係者（ジオガイドや研究者等）による出前授業や、学生を対象とした支援プログラムを実施します。</p> <p>「ジオガイドの養成及び体制づくり、ジオツアーの開催」 ジオガイドの養成及び体制づくりを進め、「伝え手」となる人材を育成します。また、ジオガイドによるジオツアーを開催し、自然とふれあい学ぶ機会をつくれます。</p>		
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前授業の開催 ※依頼に応じて実施（通年） ・ 学校教育支援プログラムの実施 6月～ 教育委員会と来年度の学校教育支援について打ち合わせ 7月～8月 教職員のための郷土学習指導者講座の実施 ・ ジオツアーの実施 ※依頼に応じて実施（通年） ・ 定番ジオツアーの開発 6月～ ジオツアー開催のためのルールづくり 8月～ 定番ジオツアーの開発 		
R4年度成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員のための郷土学習指導者講座を実施します ・ 定番ジオツアーを開発します 	目標値	

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	筑波山地域ジオパーク推進協議会として、ジオツアーを開発及び実施していくためには、旅行業法や税金に関する課題の解決が必要であることが判明しましたが、この課題を今年度中に解決することは難しいため、計画の見直しを図る必要があります。
年間 (4～3月分)		<ul style="list-style-type: none"> ・筑波山地域ジオパーク推進協議会の専門員を中心に、出前授業を27件（内つくば市内は4件）、校外学習を3件（内つくば市内は2件）実施しました。 ・筑波山地域ジオパーク推進協議会として、筑波山地域ジオパークエリア内の教職員を対象とした郷土学習指導者講座を2回実施しました。その他、依頼に応じて、茨城県内の教職員を対象とした講座を3回行いました。 ・筑波山地域ジオパーク推進協議会の専門員を中心に、出前授業を20件（内つくば市内は5件）、校外学習を8件（内つくば市内は2件）実施しました。 ・筑波山地域ジオパーク推進協議会として、筑波山地域ジオパークエリア内の教職員を対象とした郷土学習指導者講座を2回実施しました。その他、依頼に応じて、茨城県内の教職員を対象とした講座を3回行いました。 ・筑波山地域ジオパーク推進協議会として、ジオツアーについては野外学習や生涯学習を含めて計14回（内つくば市内は8回）実施しました。12月には観光推進課、3月には環境政策課と協力し、認定ジオガイドが提案したツアープログラムを実施しました。 ・ジオガイドを対象にした会合を2回、スキルアップ講座を5回開催し、ジオガイドの育成を図りました。
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のための郷土学習指導者講座を実施することで、自然遺産の価値を伝えられる人が増え、自然遺産の保全・保護につなげることができました。 ・認定ジオガイドの提案によるツアープログラムを実施することで、自然とふれあい学ぶ機会を作ることができました。 	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・筑波山地域ジオパーク推進協議会として、有料ジオツアーを開発・実践するにあたり、実施体制を見直す必要があります。 ・教育旅行やエコツーリズムを推進するため、事業者と連携していく必要があります。 	
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオツアーを推進するため、実施体制の検討および新たな定番ツアープログラムの開発についても検討していきます。 ・教育旅行やエコツーリズムに取り組むため、事業者との連携を推進します。 	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業の開催 ※依頼に応じて実施（通年） ・学校教育支援プログラムの実施（8月） ・新規ジオツアーのコース作成（4～6月） ・新規ジオツアー実施に向けたガイド講習（7月～） 		
R5年度 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のための郷土学習指導者講座を実施します ・新規ジオツアーコースを開発します 	目標値	—

施策番号	37	(2-4)
-------------	----	-------

関連施策番号	432		
---------------	-----	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ
将来像	貴重な自然や緑豊かな街並みが将来にわたり守られるよう、平地林や農地、公園、庭の緑などを守り、育て、ふれあう取組が協働で進んでいます。
施策の柱	2-4 自然とふれあう
施策の方向性	グリーンツーリズムの推進

事業概要									
担当課・室	経済部 農業政策課								
事業の目的	農業体験イベントを通じた市内外の都市住民と生産者の交流により、農業の活性化を図ります。								
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外の都市住民に、「農産物オーナー制度」や「農業体験イベント」等を通じて農業に触れる機会を提供します。 ・都市農村交流促進PRを実施します。 								
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物オーナー制を実施します。 ・農業体験イベント（既存の農業体験提供団体との協働含む）を開催します。 ・農業サポーター制度を実施します。 ・都市農村交流促進PRを実施します。 								
R4年度成果指標	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">農産物オーナー制</td> <td style="width: 30%;">参加者数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>農業体験イベント</td> <td>参加者数</td> <td>目標値</td> <td>600名</td> </tr> </table>	農産物オーナー制	参加者数			農業体験イベント	参加者数	目標値	600名
農産物オーナー制	参加者数								
農業体験イベント	参加者数	目標値	600名						

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	・新型コロナウイルスの行動制限の変化を受けて、都市農村交流を活性化するためにアフターコロナを見据えた農業体験等の検討が求められます。
年間 (4～3月分)	<p>【農産物オーナー制】 農産物オーナー制の参加者は、472名でした。</p> <p>【農業体験イベント】 農業体験イベントは、13回実施し（既存の農業体験提供団体との協働含む）、参加者数は282名でした。</p> <p>【農業サポーター】 農業サポーターの参加者（延べ人数）は、673名でした。</p> <p>※ホームページのほか、リーフレット、広報誌、農業政策課SNS、つくスマ等で情報発信を行い、参加者を募りました。</p>	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	「農産物オーナー制」及び「農業体験イベント」の合計参加者は754名で、目標値を達成しました。農業体験事業を通じて、市民と生産者の相互交流が図られました。また、市内の農業や農産物について周知が図られました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	アフターコロナを見据えた事業の企画・運営が課題となります。	
改善目標	リーフレットやホームページ等、新型コロナウイルス感染症に関する表記について、検討します。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	・農産物オーナー制及び農業サポーター制度等の農業体験の実施を通して、市内外の都市住民の生産者との交流機会及び農とのふれあい機会を創出し、農業の活性化を図ります。		
R5年度 成果指標	農産物オーナー制 参加者数 農業体験イベント 参加者数	目標値	600名

施策番号	38	(3-1)
-------------	----	-------

関連施策番号	39(3-1)		
---------------	---------	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	3 資源を賢く使う循環型社会に近づく
将来像	資源の浪費がなくなるだけでなく、ごみの発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再資源化（リサイクル）という3Rを推進することで、“ごみ”という概念がなくなるくらい資源循環される仕組みができています。
施策の柱	3-1 3Rの推進
施策の方向性	循環型社会形成に係る普及啓発

事業概要				
担当課・室	生活環境部 環境衛生課			
事業の目的	循環型社会の構築に資するため、資源物の有効活用とリサイクル意識の向上を図ります。また、家庭から排出されるごみについて、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再資源化（リサイクル）という3Rを推進し、市民の意識向上及び行動促進を図ります。			
事業の概要	身近に取り組める3Rの促進として、資源物集団回収を推進します。また、可燃ごみの約30%を占める生ごみを削減するため、生ごみ処理器等の購入を推進します。学校と連携して、将来の資源循環型社会を担う子どもたちに対して啓発を行います。			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・資源物集団回収を実施する子ども会や区会等に奨励金を交付します。 ・生ごみ処理器等の購入者に対して、購入費の一部を補助金として交付します。 ・各小中学校に牛乳パック回収ボックスを設置します。 ・3Rニュースを定期的に発行し、区会回覧での周知により市民の意識向上に努めます。また、ごみ分別アプリ活用によるPR拡大を検討します。 ・学校を対象に、ごみやリサイクルに関する出前講座を実施します。 			
R4年度成果指標	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・資源物集団回収を行う団体数 ・牛乳パック回収量 ・3Rニュース発行回数 </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">目標値</td> <td style="width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・117団体 ・2,500kg ・2回 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源物集団回収を行う団体数 ・牛乳パック回収量 ・3Rニュース発行回数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・117団体 ・2,500kg ・2回
<ul style="list-style-type: none"> ・資源物集団回収を行う団体数 ・牛乳パック回収量 ・3Rニュース発行回数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・117団体 ・2,500kg ・2回 		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	資源物集団回収について、登録団体数は例年同様で横ばいですが、コロナ禍により、未実施の団体が増えています。コロナ収束後を見据え、コロナ前の水準まで活動が戻るよう広報していく必要があります。
年間 (4～3月分)		<ul style="list-style-type: none"> ・資源物集団回収を行う113団体の登録がありました。 ・生ごみ処理器等の購入補助事業では、容器式200基、電気式208基、計408基の補助金を交付しました。 ・牛乳パック回収事業では、市内小中学校から年間で1,171kg回収しました。 ・広報紙や区会回覧(3Rニュース)を発行し、3きり運動や雑がみ・プラごみの分別を周知し、ごみ減量を推進しました。 ・家庭でできる生ごみ減量のきっかけづくりとして、段ボールコンポストの無料配布(822個)を行いました。 ・市内小中学校の課外活動の一環として出前講座を7回実施しました。また、市民向け出前講座を3回実施しました。
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	<p>コロナ禍が続き、資源物集団回収を実施する団体が前年に引き続き減少傾向となり、牛乳パック回収事業も回収量が安定しませんでした。</p> <p>一方、生ごみ処理器等の購入補助事業では、大幅に予算を拡大したことから申請者も増え、生ごみの減量に寄与しました。</p>	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	ごみの減量及び分別促進には、市民への意識啓発が重要となります。	
改善目標	広報紙、区会回覧のほか、ごみ分別アプリの通知機能を活用した情報発信を行います。市民への啓発を強化するとともに、ごみ減量に向けた取組を積極的に進めていきます。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・資源物集団回収を実施する子ども会や区会等に奨励金を交付します。 ・生ごみ処理器等の購入者に対して、購入費の一部を補助金として交付します。 ・各小中学校に牛乳パック回収ボックスを設置します。 ・3Rニュースを定期的に発行し、区会回覧やイベントでの周知により市民の意識向上に努めます。また、ごみ分別アプリ活用によるPR拡大を検討します。 ・学校を対象に、ごみやリサイクルに関する出前講座を実施します。 		
R5年度 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・資源物集団回収を行う団体数 ・牛乳パック回収量 ・3Rニュース発行回数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・117団体 ・2,500kg ・4回

施策番号	40	(3-1)
------	----	-------

関連施策番号			
--------	--	--	--

■ 令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票 ■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	3 資源を賢く使う循環型社会に近づく
将来像	資源の浪費がなくなるだけでなく、ごみの発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再資源化（リサイクル）という3Rを推進することで、“ごみ”という概念がなくなるくらい資源循環される仕組みができています。
施策の柱	3-1 3Rの推進
施策の方向性	市民によるリデュース・リユース・リサイクルの促進

事業概要			
担当課・室	生活環境部 環境政策課		
事業の目的	市民、事業者、市によるプラスチックごみの削減と、リサイクルセンターによるプラスチックごみの有効利用を推進し、運搬・焼却に伴う温室効果ガスの排出の抑制を図ります。		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者、市民団体、学校などと市民の意識向上や行動促進につながる様々な取組を通して家庭から出るごみの3Rを促進します。 ・環境フェスティバルなどの環境関連イベントにおけるリユース食器等の導入可能性の検討を進めます。 		
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやサポーターズニュースを用いて、ごみに関する市民の意識向上や行動促進につながる情報発信を行います。 ・当課主催イベントにおいて、実験的にプラスチック製の容器を使用しないことを条件に移動販売事業者への出店を依頼します。 		
R4年度成果指標	当課主催イベントにおけるプラスチックごみの削減に配慮した移動販売事業者数	目標値	3事業者

進捗状況・実績

上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	バイオプラスチック容器を使用している移動販売事業者が一部ありました。 次年度以降は事前に禁止するプラスチックの詳細を定めておく必要があります。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーターズニュースを用いて、ごみに関する市民の意識向上や行動促進につながる情報発信を計3回配信しました。 (サポーターズニュース「ごみ分別アプリ『さんあ〜る』」7月号、「生ごみ処理容器補助金受付中」9月号) ・11/12開催のつくばサイエンスコラボ2022において、プラスチック製の容器を使用しないことを条件として移動販売事業者への出店を依頼しました。(つくばサイエンスコラボで同時開催していた環境フェスティバルについては、R4年度で事業が終了しました。) 	

目標に対する年度末の達成状況及び成果

評価	おおむね目標どおり達成した	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック製の容器を使用しない移動販売事業者4事業者がつくばサイエンスコラボ2022へ出店したため、プラスチックごみの排出抑制につながりました。 	

課題及び次年度へ向けた改善目標

課題	特にありません。	
改善目標	特にありません。	

つくば市環境審議会の意見

評価	おおむね目標どおり達成した	
4	<p>プラスチック製容器を禁止するのであれば、化石由来のプラスチックは不可などとした方がよいと思います。他にも、紙製の容器やリユース容器など、環境負荷を減らすためには何がよいのか、いろんなオプションを含めて条件とした方がよいと思います。</p>	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市HPやサポーターズメール等にて、ごみに関する市民の意識向上や行動促進につながる情報発信を行います。 		
R5年度 成果指標	市HP及びサポーターズメールの掲載回数	目標値	3回

施策番号	41	(3-1)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	3 資源を賢く使う循環型社会に近づく
将来像	資源の浪費がなくなるだけでなく、ごみの発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再資源化（リサイクル）という3Rを推進することで、“ごみ”という概念がなくなるくらい資源循環される仕組みができています。
施策の柱	3-1 3Rの推進
施策の方向性	事業者によるごみ減量化の促進

事業概要			
担当課・室	生活環境部 環境衛生課		
事業の目的	事業者によるごみ減量及びリサイクルを推進します。		
事業の概要	事業系ごみ減量について、業種別のごみの排出状況を調査の上、把握します。多量排出事業者に対し、ごみ減量化に関する計画書の提出を要請します。事業系ごみ減量に向けた冊子等を配布し、ごみ減量及びリサイクルへの意識向上を図ります。飲食店及び商店等による食品ロス削減を推進します。		
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・多量排出事業者への一般廃棄物減量化等計画書の提出を要請します。 ・資源回収を実施している小売店等との連携を検討します。 ・食品ロス削減として、いばらき食べきり協力店の登録を推進します。 		
R4年度成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物減量化等計画書提出件数 ・いばらき食べきり協力店への新規登録数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・100件 ・20件

進捗状況・実績	
上半期 (4～9月分)	<p>課題、改善が必要な点</p> <p>搬入検査で、事業系一般廃棄物に廃プラスチック類や資源物（段ボール等）の混入が少なからず見つかっていますので、ひどい場合は現地訪問による実態把握と分別徹底によるごみ減量及び資源化促進の指導を行っていきます。 また、食べきり協力店への登録に関する情報発信を強化していきます。</p>
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・多量排出事業者から一般廃棄物減量化等計画書の提出を受け(98事業所)、減量化及び資源化の取組が不十分な計画の場合は聞き取り等を行い、計画の再考を指導しました。また、事業所(13か所)を訪問し、排出状況や分別方法等の実態把握とポスター配布による啓発を行いました。 ・事業系一般廃棄物の排出実態を把握するため、サステナスクエアでの搬入検査を25件行いました。分別が不十分だった場合、収集運搬許可業者及び排出事業者に指導を行いました。 ・いばらき食べきり協力店に1件の新規登録がありました。(市内累計45店舗)
目標に対する年度末の達成状況及び成果	
評価	一部未達成であった
3	<p>多量排出事業者(98事業所)から一般廃棄物減量化等計画書を提出させ、減量化・資源化について指導しました。また、サステナスクエアで事業系一般廃棄物の搬入検査を25件行い、分別が不十分だった場合、収集運搬許可業者及び排出事業者に指導を行いました。いばらき食べきり協力店の新規登録は1店舗でした。</p>
課題及び次年度へ向けた改善目標	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・搬入検査で燃やせるごみへの廃プラスチック類や資源物（段ボール等）の混入が見受けられ、排出者の分別意識が低い状況にあります。 ・いばらき食べきり協力店の新規登録はわずか1件であり、より一層のPRが必要です。
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事業系一般廃棄物の減量・資源化推進のため、搬入検査に合わせたチラシやパンフレットの配布等、収集運搬許可業者及び排出事業者に対する意識啓発及び指導を強化します。 ・いばらき食べきり協力店新規登録の呼びかけを行っていきます。
つくば市環境審議会の意見	
評価	一部未達成であった
3	特になし。

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・搬入検査の実施に伴う収集業者及び排出者への指導、及びチラシ等の配布を行います。 ・多量排出事業者への一般廃棄物減量化等計画書の提出を要請します。 ・資源回収を実施している小売店等との連携を検討します。 ・食品ロス削減として、いばらき食べきり協力店の登録を推進します。 		
R5年度 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物減量化等計画書提出件数 ・いばらき食べきり協力店への新規登録数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・100件 ・45件

施策番号	42	(3-1)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	3 資源を賢く使う循環型社会に近づく
将来像	資源の浪費がなくなるだけでなく、ごみの発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再資源化（リサイクル）という3Rを推進することで、“ごみ”という概念がなくなるくらい資源循環される仕組みができています。
施策の柱	3-1 3Rの推進
施策の方向性	資源の有効活用を推進

事業概要			
担当課・室	生活環境部 環境衛生課		
事業の目的	リサイクル意識を醸成するとともに、河川等の水質汚濁を防止します。		
事業の概要	家庭から出る廃食油を拠点回収して、バイオディーゼル燃料（BDF）を精製します。精製したBDFは公共施設の作業車両及び委託収集車両に使用します。		
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用廃食油を市役所、交流センター、商業施設の拠点で回収し、BDFを精製します。 ・精製したBDFをサステナスクエア内の作業車両及び委託収集車両で使用します。 ・BDFの更なる利活用法の検討を行います。 		
R4年度成果指標	家庭用廃食油回収量	目標値	10,000リットル

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	<ul style="list-style-type: none"> ・精製したBDFに対応する車両、重機等が減少してきています（高年式車両では使用不可）。 ・車両以外での利活用方法を確立する必要があります。
年間 (4～3月分)		<ul style="list-style-type: none"> ・市内27か所の拠点から家庭用廃食用油13,767リットルを回収し、BDF3,287リットルを精製し使用しました。 ・サステナスクエアの車両や廃食用油を収集している車両で、代替燃料としてBDFを使用しました。
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	家庭用廃食用油13,767リットルを拠点回収し、精製したBDFをサステナスクエアの車両や廃食用油回収車両で使用しました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	廃食用油の回収量に対して精製量が少ないため、更なる利活用の検討が求められます。	
改善目標	バイオディーゼル燃料の利活用方法をサステナスクエア管理課と検討します。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	航空燃料のSAFの原料や飼料化など、廃食用油の資源化を広く検討するとよいと思います。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用廃食用油を市役所、交流センター、商業施設の拠点で回収し、BDFを精製します。 ・精製したBDFをサステナスクエア内の作業車両及び委託収集車両で使用します。 ・BDFの更なる利活用法の検討を行います。 		
R5年度 成果指標	家庭用廃食用油回収量	目標値	10,000リットル

施策番号	43	(3-2)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	3 資源を賢く使う循環型社会に近づく
将来像	市民や事業者、市が地球の資源の有限性を認識しており、地域で最適な生産・消費が行われることで、資源の浪費はほとんどなくなっています。
施策の柱	3-2 廃棄物の適正処理
施策の方向性	一般廃棄物の適正な処理

事業概要			
担当課・室	生活環境部 サステナスクエア管理課		
事業の目的	市内から排出された一般廃棄物を適正に処理します。		
事業の概要	サステナスクエアに搬入された廃棄物の中間処理や最終処分を適正に行います。そのために、リサイクルセンターなどの施設の維持管理を適正に行います。		
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・最終処分について、適正に処分されているか追跡調査を実施します。また、追跡調査の効率化について検討します。 ・サステナスクエア各施設の包括的運転管理等の受託者に対して、適切な指導及び監督を行います。 ・リスク分散の観点から、最終処分場及び焼却灰資源化についての調査を進めます。 		
R4年度成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">目標値 —</td> </tr> </table>	—	目標値 —
—	目標値 —		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	焼却灰の資源化を推進するため、新たな資源化方式についても検討する必要があります。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・サステナスクエアから搬出された焼却灰及び不燃物の最終処分（埋立処分）について追跡調査を実施し、適切に運搬・処分されていることを確認するとともに、移動手段等を検討し、効率化を図りました。 ◇追跡調査実施日 青森県（7月）・秋田県（8月）・山形県（11月） ・各施設の包括的運転管理等の受託者に対して、適宜、設備の修繕に関する日程の調整、点検・報告資料の作成等について指導及び監督を実施しました。 ・リスク分散の観点から、新たな最終処分場（福島県）についての調査を進めました。 また、焼却灰の資源化施設（埼玉県及び鹿嶋市）についての調査を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ◇現地調査実施日 福島県（1月）・埼玉県（5月）・鹿嶋市（10月） 	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・最終処分の追跡調査を効率的に実施するとともに、埋立処分業務委託の受託者が適正に焼却灰を運搬し、適切に管理された最終処分場において埋立処分していることを確認できました。 ・各施設の運用状況等について、適切な指導及び監督を実施することができました。 ・最終処分場等の調査を実施し、更に委託先が増加してリスク分散を図れるようになるとともに、焼却灰資源化量の増加を図ることができました。 	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	最終処分場については、施設が遠方にあると運送費が高くなるため、可能な限り近隣の施設を利用する必要があります。	
改善目標	近隣の新たな最終処分場の整備状況等について調査を進めます。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に最終処分されているか確認するため実施している追跡調査について、令和5年度から新たな最終処分先となった福島県小野町を加えます。また、追跡調査の効率化について検討します。 ・サステナスクエア各施設の包括的運転管理等の受託者に対して、適切な指導及び監督を行います。 ・リスク分散の観点から、最終処分場及び焼却灰資源化について更に調査を進めます。 		
R5年度 成果指標	搬出先の全ての最終処分場及び資源化施設の効率的な追跡調査の実施します。	目標値	—

施策番号	44	(3-2)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	3 資源を賢く使う循環型社会に近づく
将来像	市民や事業者、市が地球の資源の有限性を認識しており、地域で最適な生産・消費が行われることで、資源の浪費はほとんどなくなっています。
施策の柱	3-2 廃棄物の適正処理
施策の方向性	一般廃棄物の適正な処理

事業概要			
担当課・室	生活環境部 環境衛生課		
事業の目的	適正な分別及び適正な処理により、リサイクル率を向上します。		
事業の概要	排出者の利便性を向上して粗大ごみを確実に回収するため、粗大ごみ受付センターを開設し、粗大ごみの戸別収集を行います。ごみの排出方法及び分別方法などがわかりやすい分別カレンダーを全戸配布するほか、ごみ分別のスマートフォンアプリを配信します。		
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ収集の電話及びインターネット受付による戸別収集を実施します。 ・家庭ごみの出し方カレンダーを作成し、全戸に配布します。 ・スマートフォン用ごみ分別アプリ「さんあ〜る」について、外国語対応を行います。また、広報紙、区会回覧等を通して周知を行います。 		
R4年度成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ予約件数 ・ごみ分別アプリのダウンロード数(年間) 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・12,000件 ・8,000ダウンロード

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	分別アプリ「さんあ～る」での情報発信を積極的に行っていきます。
年間 (4～3月分)		<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみの収集の受付は、電話によるものが7,102件、インターネットによるものが7,020件の計14,122件ありました。 ・家庭ごみの出し方カレンダーを作成し、2月1日から2月28日までの間にポスティングによる全戸配布を行いました。 ・スマートフォン用ごみ分別アプリ「さんあ～る」の周知を広報誌8月号、つくば市かわら版15号、3Rニュース68号、つくば市環境スタイルサポーターズニュースVol.49、50及び51で行いました。今年度のダウンロード数は、10,363件です（累計33,150件）。 ・今年度4月からごみ分別アプリ「さんあ～る」について、これまでの日本語及び英語の2言語に加えて、中国語（簡体字）、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、ベトナム語に対応しました。
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	粗大ごみ収集の受付は、目標を超える14,122件の申込がありました。スマートフォン用ごみ分別アプリを広報紙等で周知し、目標を超える年間10,363件のダウンロードがありました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	ごみ分別アプリでの情報発信の件数が少なく、より一層の活用が必要です。	
改善目標	ごみ分別アプリの通知機能等を活用して、ごみの分け方や出し方について積極的に情報発信を行っていきます。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	可燃物の庭木について、サステナスクエアに持込不可のものについては、ホームページ等で記載した方がよいと思います。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ収集の電話及びインターネット受付による戸別収集を実施します。 ・家庭ごみの出し方カレンダーを作成し、全戸に配布します。 ・スマートフォン用ごみ分別アプリ「さんあ～る」を広報紙や区会館等により周知するとともに、通知機能等を活用した情報発信を行います。 		
R5年度 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ予約件数 ・ごみ分別アプリのダウンロード数(年間) 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・12,000件 ・8,500ダウンロード

施策番号	45	(3-2)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	3 資源を賢く使う循環型社会に近づく
将来像	市民や事業者、市が地球の資源の有限性を認識しており、地域で最適な生産・消費が行われることで、資源の浪費はほとんどなくなっています。
施策の柱	3-2 廃棄物の適正処理
施策の方向性	産業廃棄物の適正処理に関する普及啓発

事業概要				
担当課・室	生活環境部 環境衛生課			
事業の目的	産業廃棄物などを適正に管理及び処理することで、都市環境への悪影響をなくします。			
事業の概要	産業廃棄物について、必要に応じて茨城県と連携し、産業廃棄物処理業者に対して適切な指導や助言を行います。また、産業廃棄物の不適正保管及び不法投棄について、茨城県に協力し、調査及び指導を行います。			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県と連携し、市内産業廃棄物処理施設の立ち入り調査に協力します。 ・茨城県が所管する産業廃棄物不適正管理案件の調査及び指導に協力します。 ・排出事業者に対し、産業廃棄物と一般廃棄物の分別を促すポスター等配布及び訪問による啓発を行います。 			
R4年度成果指標	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理施設への立ち入り調査件数 ・産業廃棄物不適正保管等の調査件数 ・排出事業者への訪問啓発件数 </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">目標値</td> <td style="width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2件 ・ 2件 ・ 30件 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理施設への立ち入り調査件数 ・産業廃棄物不適正保管等の調査件数 ・排出事業者への訪問啓発件数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2件 ・ 2件 ・ 30件
<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理施設への立ち入り調査件数 ・産業廃棄物不適正保管等の調査件数 ・排出事業者への訪問啓発件数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2件 ・ 2件 ・ 30件 		

進捗状況・実績

上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	搬入検査で、事業系一般廃棄物に廃プラスチック類（産業廃棄物）の混入が少なからず見つかっていますので、適正処理を指導するため、成果指標の目標値分の指導を実施します。
年間 (4～3月分)		<ul style="list-style-type: none"> ・市内産業廃棄物処理施設への立入調査はありませんでした。 ・産業廃棄物不適正管理案件の調査及び指導はありませんでした。 ・排出事業者13者を訪問し、ごみの排出状況の現地確認するとともにポスター配布による啓発を行いました。 ・排出事業者への啓発パンフレット「事業系廃棄物適正処理パンフレット」を作成しました。

目標に対する年度末の達成状況及び成果

評価	一部未達成であった
3	茨城県が実施する市内産業廃棄物処理施設への立入調査、産業廃棄物不適正管理案件の調査及び指導はありませんでした。排出事業者13者(目標30者)を訪問し、ごみの排出状況の現地確認を行うとともに、ポスター配布による啓発を行いました。

課題及び次年度へ向けた改善目標

課題	施策41で実施している搬入検査で一般廃棄物に産業廃棄物の混入が見受けられるため、排出事業者に対し産業廃棄物と一般廃棄物の分別・適正処理について呼びかけていく必要があります。
改善目標	今年度作成した「事業系廃棄物適正処理パンフレット」を活用して、排出事業者への啓発を行っていきます。

つくば市環境審議会の意見

評価	一部未達成であった
3	特になし。

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県と連携し、市内産業廃棄物処理施設の立入調査や、産業廃棄物不適正管理案件の調査及び指導に協力します。 ・排出事業者に対し、産業廃棄物と一般廃棄物の分別を促す「事業系廃棄物適正処理パンフレット」の配布及び訪問による啓発を行います。 		
R5年度 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・排出事業者への訪問啓発件数 ・啓発パンフレット配布数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・30件 ・3,000部

施策番号	47	(4-1)
------	----	-------

関連施策番号			
--------	--	--	--

■ 令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票 ■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	4 安心して快適な生活環境で暮らす
将来像	静かで清潔なまちの中で、清々しい空気、安全な水を享受した、穏やかな暮らしが営まれています。
施策の柱	4-1 清潔で静かな生活環境の確保
施策の方向性	市民・事業者による美化活動

事業概要			
担当課・室	生活環境部 環境保全課		
事業の目的	市・市民・事業者の連携した環境美化活動により、美化意識の高揚を図り、快適な市民生活の確保を目指します。		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動（ごみ拾い等）を行う個人・団体に対し、清掃用具（ごみ袋・軍手・火ばさみ）の支給、傷害保険の加入等の支援を行うことで、自発的な環境美化活動を推進します。 ・市と事業者が計画する環境美化活動（きれいなまちづくり実行委員会主催のきれいきれい大作戦）へ市民が参加することで、環境美化意識の高揚を図ります。 		
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動（ごみ拾い等）への支援実施。（随時） ・まつりつくば等のイベントでの環境美化活動支援の周知・啓発活動（ブース出展）。 ・年1～2回程度の、区会回覧等による環境美化活動支援の周知。 ・きれいなまちづくり実行委員会の開催 月1回程度の企画会議。 ・きれいきれい大作戦（年8回）による清掃活動等の開催。 <p>以上のような、環境美化活動の支援や、その周知、市民参加型の環境美化活動の実施により、自発的な環境美化活動（ボランティア）者数の増加を目指します。</p>		
R4年度成果指標	自発的な環境美化活動（ボランティア）者数	目標値	10,500名（延べ）

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	活動人数の増加を図るため、引き続き広報活動や啓発活動を行います。また、継続して活動している個人・団体への表彰を行うことで、活動へのモチベーション向上を図ります。
年間 (4～3月分)		<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動延べ人数…12,860名 支援品 ごみ袋…10,442枚／軍手…1,180双／火ばさみ…493本 ・啓発活動（8月万灯夏まつり、11月サイエンスコラボ） ・きれいなまちづくり実行委員会…12回開催（毎月1回） ・きれいきれい大作戦…8回開催（ごみ拾い活動6回、落書き消し2回） ・環境美化支援申請書の電子申請化（5月） ・昨年度活動者に対する継続参加案内文の送付（5月） ・区会回覧（7月）、SNS（8月）、広報誌（9月）による周知 ・継続活動者（個人・団体）への表彰実施要領の策定及び表彰対象者の選定（3月）
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	目標を大幅に超えて達成した	
5	新たな取り組みとして、電子申請の導入、SNS等での周知や継続活動通知文の作成等を行い、環境美化ボランティア活動者数の増加を図りました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を自粛していた方による活動の再開もあり、目標値を大きく上回ることができました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	今後も、環境美化ボランティア活動人数の増加を図るため、活動支援内容について見直し、充実した内容を検討します。	
改善目標	環境美化ボランティア活動について、広く周知するための方法を検討し、今後も継続活動者及び新規活動者数の増加を目指します。 ボランティア活動者がより活動に取り組みやすい環境を整えるため、活動支援内容について見直しを行います。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	目標を大幅に超えて達成した	
5	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動（ごみ拾い等）への支援実施。（随時） ・まつりつくば等のイベントでの環境美化活動支援の周知・啓発活動（ブース出展）。 ・広報誌や区会回覧のほか、本年度新たに導入するごみ拾い促進アプリ等による環境美化活動の周知。 ・きれいなまちづくり実行委員会の開催 月1回程度の企画会議。 ・きれいきれい大作戦（年8回）による清掃活動等の開催。 以上のような、環境美化活動の支援や、その周知、市民参加型の環境美化活動の実施により、自発的な環境美化活動（ボランティア）者数の増加を目指します。		
R5年度 成果指標	自発的な環境美化活動（ボランティア）者数	目標値	10,750名（延べ）

施策番号	49	(4-1)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■ 令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票 ■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	4 安心して快適な生活環境で暮らす
将来像	不法投棄やごみのポイ捨てがなくなり、快適で心地よい生活環境になっています。また、大気汚染や騒音などの公害や健康被害を防ぐため、法令が順守されます。法令の基準以上に、環境負荷の低減を図る事業者も多くいます。
施策の柱	4-1 清潔で静かな生活環境の確保
施策の方向性	ごみの散乱防止

事業概要				
担当課・室	生活環境部 環境衛生課			
事業の目的	まちをきれいに保つため、地域の環境保全活動を行うほか、環境美化への関心を高め、ポイ捨てのない社会を目指し、美しいまちを将来の世代に引き継ぎます。			
事業の概要	6月及び12月に全区会（自治会）に呼びかけ、道路脇にぽい捨てされたごみの清掃活動を実施します。不法投棄パトロールを実施し、道路上に不法投棄されたごみを回収します。再発防止や注意喚起のため、不法投棄禁止の看板を市民に無料で配布します。ごみの散乱を防止するため、集積所の設置補助を行います。			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市内一斉清掃を6月及び12月に実施します。 ・不法投棄防止のための看板を希望者に交付します。 ・不法投棄パトロールを実施し、不法投棄されたごみを回収します。 ・集積所の設置事業補助金を交付します。 			
R4年度成果指標	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市内一斉清掃の実施回数 ・不法投棄パトロール ・集積所設置事業補助金の交付件数 </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">目標値</td> <td style="width: 30%; vertical-align: middle;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2回 ・ 350日 ・ 30件 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内一斉清掃の実施回数 ・不法投棄パトロール ・集積所設置事業補助金の交付件数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2回 ・ 350日 ・ 30件
<ul style="list-style-type: none"> ・市内一斉清掃の実施回数 ・不法投棄パトロール ・集積所設置事業補助金の交付件数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2回 ・ 350日 ・ 30件 		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	2年ぶりの市内一斉清掃の開催のため、市民から問い合わせが多くなったため、周知の際によりわかりやすく周知する必要があります。
年間 (4～3月分)		<ul style="list-style-type: none"> ・6月5日と12月4日に市内一斉清掃を実施しました。回収量は6月は8,180kg、12月は8,240kg、計16,420kgとなりました。 ・不法投棄防止のための看板を希望者に371枚交付しました。 ・不法投棄パトロールを347日行い、14,470kgのごみを回収しました。
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	今年度は、コロナ禍で一昨年と昨年実施できなかった一斉清掃を6月、12月の2回実施することができました。不法投棄の回収量が前年よりも減少しました。ごみの不法投棄防止のための看板については、作成分を全て配布し追加で作成を行い、昨年よりも約150枚多く配布することで不法投棄防止周知に寄与しました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	不法投棄パトロール等の活動により、公共の場所への不法投棄は減少しているものの、依然として人家の少ない地域または民有地においては、不法投棄が絶えない状況が続いています。	
改善目標	不法投棄パトロールを効果的に実施するとともに、地域住民による市内一斉清掃の実施、市民への不法投棄についての周知を広めることで地域から市全体の生活環境の向上を進めます。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内一斉清掃を6月と12月に実施します。 ・不法投棄防止のための看板を希望者に交付します。 ・不法投棄パトロールを実施し、不法投棄されたごみを回収します。 ・集積所の設置事業補助金を交付します。 ・広報紙及び通信媒体を活用し、不法投棄防止の周知を強化します。 		
R5年度 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・市内一斉清掃の実施回数 ・不法投棄パトロール実施日数 ・集積所設置事業補助金の交付件数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・2回 ・350日 ・30件

施策番号	50	(4-1)
------	----	-------

関連施策番号			
--------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	4 安心して快適な生活環境で暮らす
将来像	不法投棄やごみのポイ捨てがなくなり、快適で心地よい生活環境になっています。また、大気汚染や騒音などの公害や健康被害を防ぐため、法令が順守されます。法令の基準以上に、環境負荷の低減を図る事業者も多くいます。
施策の柱	4-1 清潔で静かな生活環境の確保
施策の方向性	野焼き対策

事業概要			
担当課・室	生活環境部 環境衛生課		
事業の目的	野焼きによる煙や臭い等の被害を無くし、快適な生活環境を目指します。		
事業の概要	不適正な屋外焼却行為禁止について周知及び注意喚起を行うとともに、市内の巡回パトロールを行い、行為者に対して指導等を行います。		
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・区会回覧及び広報紙により、屋外焼却行為の禁止について周知を行います。 ・防犯環境美化サポーターによる市内巡回パトロールを実施し、野焼行為者に対して注意及び指導を行います。 		
R4年度成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・区会回覧及び広報紙による周知回数 ・防犯環境美化サポーターによる市内巡回パトロール回数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・4回 ・350日

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	夏季より、特に農業関係の焼却行為に起因した野焼きの苦情が多く上がるため、農業政策課との連絡調整しながら指導に当たっていく必要があります。
年間 (4～3月分)		<ul style="list-style-type: none"> ・区会回覧で年2回、広報紙で年1回、野焼きの禁止について周知を行いました。 ・防犯環境美化サポーターによるパトロールは347日の巡回パトロールを実施し、67件の野焼行為者に禁止を指導を行いました。
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	野焼きの禁止について、広報紙及び区会回覧による周知を行いました。67件の野焼行為者に対して野焼きの禁止を指導しました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	廃棄物を違法に焼却する行為は年々減少しているものの、農業関連の野焼きに対する苦情が多いです。煙臭がする等の苦情について、情報不足のため場所及び行為者の特定が困難なことが多いです。野外での焼却行為そのものを行っていけないという認識がない市民がいます。	
改善目標	行為者への注意を促すために、広報紙等での周知回数を増やします。休日及び夜間のパトロールを強化していきます。農業関連部署と協力し、農業従事者への野焼きに関する注意喚起を行います。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・野外焼却行為の禁止については、区会回覧及び広報紙により周知を行います。 ・防犯環境美化サポーターによる市内巡回パトロールを実施し、屋外焼却行為者に対し注意及び指導を行います。 ・広報紙及び通信媒体を活用し、不法投棄防止の周知を強化します。 		
R5年度 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・区会回覧及び広報誌による周知回数 ・防犯環境美化パトロール実施日数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・4回 ・350日

施策番号	51	(4-1)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■ 令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票 ■

環境基本計画の位置づけ		
基本目標	4 安心して快適な生活環境で暮らす	
将来像	不法投棄やごみのポイ捨てがなくなり、快適で心地よい生活環境になっています。また、大気汚染や騒音などの公害や健康被害を防ぐため、法令が順守されます。法令の基準以上に、環境負荷の低減を図る事業者も多くいます。	
施策の柱	4-1	清潔で静かな生活環境の確保
施策の方向性	野焼き対策	

事業概要			
担当課・室	経済部 農業政策課		
事業の目的	農業用廃プラスチックや葉刈り芝を適正に処理することで、不法投棄や野焼きを防止し、周辺的生活環境に配慮した農業の推進を支援します。		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業用廃プラスチックの回収及び適正処理を行うことにより不法投棄や野焼きを防止し農村環境の保全を図るため、ビニール及びポリエチレンの回収を実施します。 ・ 葉刈り芝の適正処理を行うため、ストックヤードでの回収及びたい肥化の促進のために発酵促進剤と消石灰の配布を行います。 		
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家へ農業用廃プラスチック回収日程及び適正処理啓発チラシを配布します。また、市ホームページ等で周知します。 ・ 農業用廃プラスチック回収事業 8月から12月の間にビニール2回、ポリエチレン5回の計7回の回収を行います。 ・ スtockヤード事業 市内4か所にストックヤードを設置し葉刈り芝の回収を行います。また、新たなストックヤード候補地について調査、交渉を行います。 ・ 葉刈り芝たい肥化事業 申請者に対し、たい肥化促進のため発酵促進剤と消石灰を配布します。 		
R4年度成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業用廃プラスチックの回収量 ・ 葉刈り芝の回収量 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃プラスチック 50,000 kg ・ 葉刈り芝 42,000 kg

進捗状況・実績

上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	・ストックヤード事業について、次年度のストックヤード増設を事業開始後速やかに設置できるよう設置場所等を検討しておく必要があります。																																		
年間 (4～3月分)	<p>【農業用廃プラスチック適正処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家へチラシ配布を行いました。 ・下記のとおり回収を実施 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>ビニール</td> <td>8/18 : 1,020kg</td> <td>10/26 : 3,290kg</td> <td>計 : 4,310kg</td> </tr> <tr> <td>ポリエチレン</td> <td>8/23 : 4,820kg</td> <td>9/27 : 3,390kg</td> <td>10/31 : 3,370kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12/21 : 7,930kg</td> <td>計 : 25,850kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>総計 : 30,160kg</td> <td></td> </tr> </table> <p>【ストックヤード事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記のとおり回収を実施（葉刈り芝の回収量） <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>5月</td> <td>10,800kg</td> <td>8月</td> <td>18,670kg</td> <td>11月</td> <td>6,920kg</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>13,900kg</td> <td>9月</td> <td>14,100kg</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>9,390kg</td> <td>10月</td> <td>9,890kg</td> <td>計</td> <td>83,670kg</td> </tr> </table> <p>【葉刈り芝たい肥化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6件の申請あり 	ビニール	8/18 : 1,020kg	10/26 : 3,290kg	計 : 4,310kg	ポリエチレン	8/23 : 4,820kg	9/27 : 3,390kg	10/31 : 3,370kg		12/21 : 7,930kg	計 : 25,850kg				総計 : 30,160kg		5月	10,800kg	8月	18,670kg	11月	6,920kg	6月	13,900kg	9月	14,100kg			7月	9,390kg	10月	9,890kg	計	83,670kg	
ビニール	8/18 : 1,020kg	10/26 : 3,290kg	計 : 4,310kg																																	
ポリエチレン	8/23 : 4,820kg	9/27 : 3,390kg	10/31 : 3,370kg																																	
	12/21 : 7,930kg	計 : 25,850kg																																		
		総計 : 30,160kg																																		
5月	10,800kg	8月	18,670kg	11月	6,920kg																															
6月	13,900kg	9月	14,100kg																																	
7月	9,390kg	10月	9,890kg	計	83,670kg																															

目標に対する年度末の達成状況及び成果

評価	おおむね目標どおり達成した
4	葉刈り芝の回収事業においては、目標値の約2倍の回収量がありましたが、農業用廃プラスチックの回収量は目標値に達しませんでした。

課題及び次年度へ向けた改善目標

課題	・農業用廃プラスチック適正処理事業については、チラシ等で周知を図ったが、回収予定日に持ってくる方が見受けられ、当初の目標を達成できませんでした。
改善目標	・農業用廃プラスチック適正処理事業に係る情報や、野積みなどの行為は環境汚染源となることを、市HPやSNS・チラシ等を通して周知を図ります。

つくば市環境審議会の意見

評価	おおむね目標どおり達成した
4	特になし。

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農家へ農業用廃プラスチック回収日程及び適正処理啓発チラシを配布します。 ・農業用廃プラスチック回収事業 <ul style="list-style-type: none"> 7月から1月の間にビニール2回、ポリエチレン5回、緑マルチ1回の計8回の回収を行います。 ・ストックヤード事業 <ul style="list-style-type: none"> 5月から11月まで市内7か所にストックヤードを設置し葉刈り芝の回収を行います。また、新たなストックヤード候補地について調査、交渉を行います。 ・葉刈り芝たい肥化事業 <ul style="list-style-type: none"> 申請者に対し、たい肥化促進のため発酵促進剤と消石灰を配布します。（随時） 		
R5年度 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・農業用廃プラスチックの回収量 ・葉刈り芝の回収量 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチック 28,000kg ・葉刈り芝 75,000kg

施策番号	52	(4-1)
-------------	----	-------

関連施策番号	53(4-1)		
---------------	---------	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	4 安心して快適な生活環境で暮らす
将来像	不法投棄やごみのポイ捨てがなくなり、快適で心地よい生活環境になっています。また、大気汚染や騒音などの公害や健康被害を防ぐため、法令が遵守されます。法令の基準以上に、環境負荷の低減を図る事業者も多くいます。
施策の柱	4-1 清潔で静かな生活環境の確保
施策の方向性	騒音・振動の防止

事業概要				
担当課・室	生活環境部 環境保全課			
事業の目的	市民の健康被害防止及び生活環境の保全を図ります。			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公害法令に基づく届出受理・審査事務、立入検査・指導等を行います。 ・ 法定受託事務である常時監視、本市の政策及び施策に資する一般環境調査（道路騒音調査等） ・ 公害紛争処理法に基づく苦情処理（相談、調査、指導、助言）を行います。※ただし、廃棄物関係を除く。 ・ 公害防止に係る「公害防止協定」、「公害防止確認書」の運用、調整を行います。 			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所管法令に基づく届出受理、立入検査、行政指導、行政処分等を実施します。 ・ 公害防止協定に基づき、事業所の指導(104事業所)を行い、公害の未然防止に努めます。 ・ 自動車騒音常時監視調査を実施します。（20評価区間） 			
R4年度成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">騒音・振動苦情件数</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">目標値</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">50件</td> </tr> </table>	騒音・振動苦情件数	目標値	50件
騒音・振動苦情件数	目標値	50件		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	昨年度と比較し、苦情数が減少していますが、引き続き事業者への啓発活動が必要です。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等届出受理件数176件 [参考：昨年度年間127件] 騒音規制法：86件（特定施設関係：25件、特定建設作業：61件） 振動規制法：62件（特定施設関係：21件、特定建設作業：41件） 県生環条例（騒音・振動）：28件（特定施設関係：23件、特定建設作業：5件） ・公害防止協定に基づく基準値超過報告・指導：0件 [参考：昨年度年間1件] ・苦情処理件数（騒音・振動） 騒音：93件、振動：12件 [参考：昨年度年間102件] ・年度末公害防止協定締結総数：102事業場（廃止3件、新規締結1件） ・自動車騒音常時監視調査：20区間の評価を実施（市内の環境基準達成率：95.7%） 	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	一部未達成であった	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、事業者に対しての啓発を行いました。苦情件数は横ばいでした。 ・機器の点検等について、引き続きホームページに事業者への啓発事項を掲載しました。 	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・規制対象外の事業活動に起因する騒音振動苦情が大半を占めるため、事業者への啓発活動を工夫し実施する必要があります。 	
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ホームページなどを活用し、事業者に対しての啓発を行い、苦情件数を減少させます。 	
つくば市環境審議会の意見		
評価	一部未達成であった	
3	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・所管法令に基づく届出受理、立入検査、行政指導、行政処分等を実施します。 ・公害防止協定に基づき、事業所の指導(102事業所)を行い、公害の未然防止に努めます。 ・自動車騒音常時監視調査を実施します。（23評価区間） 		
R5年度 成果指標	騒音・振動苦情件数	目標値	50件

施策番号

53

(4-2)

関連施策番号

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	4 安心して快適な生活環境で暮らす
将来像	不法投棄やごみのポイ捨てがなくなり、快適で心地よい生活環境になっています。また、大気汚染や騒音などの公害や健康被害を防ぐため、法令が遵守されます。法令の基準以上に、環境負荷の低減を図る事業者も多くいます。
施策の柱	4-2 安全な生活環境の確保
施策の方向性	良好な大気・水・土の確保

事業概要				
担当課・室	生活環境部 環境保全課			
事業の目的	市民の健康被害防止及び生活環境の保全を図ります。			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公害法令に基づく届出受理・審査事務、立入検査・指導等を行います。 ・ 法定受託事務である常時監視、本市の政策及び施策に資する一般環境調査（地下水調査等） ・ 公害紛争処理法に基づく苦情処理（相談、調査、指導、助言）を行います。※ただし、廃棄物関係を除く。 ・ 公害防止に係る「公害防止協定」、「公害防止確認書」等の運用、調整を行います。 			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所管法令に基づく届出受理、立入検査、行政指導、行政処分等を実施します。 ・ 公害防止協定に基づき、事業所の指導(104事業所)を行い、公害の未然防止に努めます。 ・ 河川(調整池含)、地下水の水質測定を実施します。(河川:21地点、地下水:28地点) 			
R4年度成果指標	<table border="1"> <tr> <td>水質・悪臭・大気苦情件数</td> <td>目標値</td> <td>40件</td> </tr> </table>	水質・悪臭・大気苦情件数	目標値	40件
水質・悪臭・大気苦情件数	目標値	40件		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	昨年度と比較し、苦情数が減少しています。特に、みどりの地区の悪臭は19件から9件に減少していますが、今後も苦情発生状況に注視する必要があります。
年間 (4～3月分)		<ul style="list-style-type: none"> 法令等届出受理件数462件 [参考：昨年度年間423件] 水質汚濁防止法：236件、県生環条例（水質）：10件、県霞条例（水質）：13件 土壌汚染対策法：200件 県生環条例（悪臭）：0件 大気汚染防止法（一般粉じん発生施設）：3件 河川等水質調査（一般河川環境モニタリング） 河川基準点4地点、河川補助地点9地点、調整池等8地点で月1実施（調整池等は5、11月に実施） 公害防止協定に基づく基準値超過等報告・指導：13件 [参考：昨年度年間6件] みどりの地区臭気事案 企業への対策依頼（令和4年6月～7月） 進捗状況の確認依頼（令和5年3月） 立入検査実施数（水質） 水質検査実施件数：12件、書類検査実施件数：14件 法令違反事業場に対しては、改善指導を実施。 土壌汚染対策法 汚染区域指定件数 要措置区域：2件、形質変更時要届出区域：3件 土壌汚染対策法 汚染区域解除件数 要措置区域：1件、形質変更時要届出区域：2件 苦情処理件数（水質・悪臭・大気） 水質：8件、悪臭：54件、大気：15件 [参考：昨年度上半期 水質：3件、悪臭：62件、大気：13件]
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	一部未達成であった	
3	<ul style="list-style-type: none"> みどりの地区における悪臭苦情が継続しています。 立入検査で排水基準違反に対する改善勧告に至った事業場が2件あり、現在も指導を継続しています。 	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	<ul style="list-style-type: none"> 悪臭の規制について、見直しが必要です。 排水基準違反事業場に対する改善が必要です。 	
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> みどりの地区の悪臭問題については、企業の進捗状況を確認し、改善を促すことで、苦情の発生件数を減少させます。 悪臭防止法に基づく、臭気規制について、物質濃度規制から、臭気指数規制への切り替えの検討を引き続き行い、令和7年度からの施行を目指します。 排水基準違反事業場に対しては、継続的に立入を行い、改善を促します。 	
つくば市環境審議会の意見		
評価	一部未達成であった	
3	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 所管法令に基づく届出受理、立入検査、行政指導、行政処分等を実施します。 公害防止協定に基づき、事業所の指導(102事業所)を行い、公害の未然防止に努めます。 河川(調整池含)、地下水の水質測定を実施します。(河川：21地点、地下水：28地点) 		
R5年度 成果指標	水質・悪臭・大気苦情件数	目標値	40件

施策番号	54	(4-2)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	4 安心して快適な生活環境で暮らす
将来像	静かで清潔なまちの中で、清々しい空気、安全な水を享受した、穏やかな暮らしが営まれています。
施策の柱	4-2 安全な生活環境の確保
施策の方向性	上下水道の維持・管理

事業概要			
担当課・室	生活環境部 環境保全課		
事業の目的	高度処理型合併処理浄化槽の普及促進を図り、生活排水による公共用水域の水質汚染を防止します。		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高度処理型合併処理浄化槽の設置（新設又は転換）費用の一部を補助 ・ 転換に伴う宅内配管工事費の一部を補助 ・ 単独浄化槽等の撤去費用の一部を補助 		
R4年度事業計画	高度処理型合併処理浄化槽の設置等に要する経費について、補助金を交付し、高度処理型合併処理浄化槽の普及促進を図ります。		
R4年度成果指標	浄化槽補助申請数	目標値	100件

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	河川等の水質汚濁の原因となる単独処理浄化槽やくみ取り槽が、市内に未だ多く設置されていることから、合併処理浄化槽への転換促進を図ります。
年間 (4～3月分)	浄化槽補助申請数 1 新規設置 窒素又はリン処理型 5人槽：65件（内3件補助事業中止）、7人槽：11件（内1件補助事業中止）、10人槽：1件 高度窒素処理型 7人槽：1件 2 単独処理浄化槽等からの転換 窒素又はリン処理型 5人槽：6件、7人槽：8件（内1件工事中止）	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	一部未達成であった	
3	年間補助計画件数100件のところ、87件となりました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	未処理排水を改善するため、単独処理浄化槽等からの転換補助件数を増加させます。	
改善目標	補助金制度の周知の拡大を図ります。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	一部未達成であった	
3	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	高度処理型合併処理浄化槽の設置等に要する経費について、補助金を交付し、高度処理型合併処理浄化槽の普及促進を図ります。		
R5年度 成果指標	浄化槽補助申請数	目標値	100件

施策番号	55	(4-2)
-------------	----	-------

関連施策番号			
---------------	--	--	--

■ 令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票 ■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	4 安心して快適な生活環境で暮らす
将来像	静かで清潔なまちの中で、清々しい空気、安全な水を享受した、穏やかな暮らしが営まれています。
施策の柱	4-2 安全な生活環境の確保
施策の方向性	上下水道の維持・管理

事業概要			
担当課・室	上下水道局 水道工務課		
事業の目的	迅速な漏水の復旧や構造物に起因する騒音、振動の改善を実施することで、上水道の安定供給、快適な生活環境及び事故を未然に防止し安全を確保します。		
事業の概要	配水管の漏水や構造物の破損が発生した際に、迅速な機能回復を図るため、緊急工事業者と連携して修繕工事を実施します。		
R4年度事業計画	年度当初に実績のある緊急工事業者を選定し、配水管の漏水や構造物の破損を修繕するための工事単価契約を締結して、緊急事態が発生した際は、迅速に対応していきます。		
R4年度成果指標	—	目標値	—

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	漏水の通報、水道施設構造物に起因する振動や騒音の苦情等に対して、配水管等修繕工事を148件、消火栓修繕工事を12件実施しました。 件数については、例年よりも老朽管からの漏水が多く、増加しています。	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	配水管の漏水等、緊急に対応が必要な事態が発生した際、緊急工事業者と連携し、速やかに修繕工事を実施できたことで、安定供給及び安全を確保できました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	特にありません。	
改善目標	特にありません。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	年度当初に実績のある緊急工事業者を選定し、配水管の漏水や構造物の破損を修繕するための工事単価契約を締結して、緊急事態が発生した際は、迅速に対応していきます。		
R5年度 成果指標	—	目標値	—

施策番号

56 (4-2)

関連施策番号

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ

基本目標	4 安心して快適な生活環境で暮らす		
将来像	静かで清潔なまちの中で、清々しい空気、安全な水を享受した、穏やかな暮らしが営まれています。		
施策の柱	4-2	安全な生活環境の確保	
施策の方向性	上下水道の維持・管理		

事業概要

担当課・室	上下水道局 下水道工務課		
事業の目的	公共下水道の維持管理及び必要な整備を行い、市民の安全で快適な生活環境の確保及び公共水域の水質汚濁の防止を図ります。		
事業の概要	霞ヶ浦常南・小貝川東部流域下水道関連の公共下水道及び特定環境保全公共下水道による公共下水道の整備を実施します。また、中継ポンプ場、マンホールポンプなどの下水道施設の適正な維持管理及び改築工事を行い、運転に関わる安全性を確保します。		
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新規整備事業 通年 事業認可取得地内の設計委託および工事の施工 ・維持管理事業 通年 スtockマネジメント計画に基づく計画的な施設の修繕及び改築工事の施工 		
R4年度成果指標	下水道普及率	目標値	86.1%

進捗状況・実績

上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	<p>当初の事業計画通り、公共下水道の整備、維持管理及び改築工事を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 管渠新設：契約件数 23件 延長距離 L=7,405.9m 業務委託：契約件数 11件（設計業務委託） 業務委託 L=2,224.6m ・改築・更新事業 <ul style="list-style-type: none"> 管渠入替：契約件数 1件 業務委託 L=324.5m 業務委託：契約件数 1件（点検調査業務委託） 業務委託 L=4075.2m <p>協定件数：3件（日本下水道事業団工事委託協定） 工事内容：第2期ストックマネジメント全体計画 下横場ポンプ場耐震補強、電気・機械設備改築工事 天室喜中継ポンプ場耐震補強、電気・機械設備改築工事</p>	

目標に対する年度末の達成状況及び成果

評価	おおむね目標どおり達成した	
4	<p>当初の事業計画どおり、霞ヶ浦常南・小貝川東部流域下水道関連の公共下水道及び特定環境保全公共下水道による公共下水道の整備を実施しました。これにより目標値を達成しました。</p>	

課題及び次年度へ向けた改善目標

課題	<p>新型コロナウイルス及びウクライナ情勢の影響により、精密機器等の資材調達に時間を要し、繰越工事が増加しています。</p>	
改善目標	<p>ゼロ債務負担の実施や発注時期を見直し、早期発注による年度内竣工を目指します。</p>	

つくば市環境審議会の意見

評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新規整備事業 通年 事業認可取得地内の設計委託および工事の施工 ・維持管理事業 通年 スtockマネジメント計画に基づく計画的な施設の修繕及び改築工事の施工 		
R5年度 成果指標	下水道普及率	目標値	86.4%

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	4 安心して快適な生活環境で暮らす
将来像	不法投棄やごみのポイ捨てがなくなり、快適で心地よい生活環境になっています。また、大気汚染や騒音などの公害や健康被害を防ぐため、法令が遵守されます。法令の基準以上に、環境負荷の低減を図る事業者も多くいます。
施策の柱	4-2 安全な生活環境の確保
施策の方向性	農業における環境配慮

事業概要				
担当課・室	経済部 農業政策課			
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 被覆植物を作付けすることにより畑からの土埃や表土流出を防止、また、化学肥料や化学合成農薬を低減することにより環境保全型農業を推進します。 農薬の適正使用について周知し、農業による環境影響を軽減します。 			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> カバークロープ事業 冬場の作付けされていない農地からの土ぼこりと表土流出を防止するため、申請者に対して緑肥としてすき込みが可能な被覆植物の種子を無料配布します。 環境保全型農業直接支払交付金 農業者等が地球温暖化防止等を目的に、農地土壌への炭素貯留に効果の高い営農活動や生物多様性保全に効果の高い営農活動の推進を図ります。 有機資材購入費補助事業 特別栽培農産物及び有機JAS認証者に対して、有機肥料の助成措置を行います。 被覆植物を作付けすることにより畑からの土埃や表土流出を防止、また、化学肥料や化学合成農薬を低減することにより環境保全型農業を推進します。 農薬の適正使用 農薬の適正使用に関する情報を市HP、広報つくばへの掲載による周知を実施します。また、農薬の適正使用についてのチラシを、JAや農薬販売店、ホームセンター等に配布します。 			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> カバークロープ事業 申請者に対して、被覆植物の種子を無料配布します。 環境保全型農業直接支払交付金 農地土壌への炭素貯留に効果の高い営農活動や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対して交付金を交付します。 有機資材購入費補助事業 農作物に応じて10a当たり1,000円から10,000円の有機資材購入費への補助を行います。 農薬の適正使用 市HP、広報つくばに農薬の適正使用に関する情報を掲載します。 農薬の適正使用についてのチラシを、JAや農薬販売店、ホームセンター等に配布し、購入者に周知を行います。 			
R4年度成果指標	<table border="0"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> カバークロープ補助対象面積 環境保全型農業直接支払交付金対象面積 有機資材購入費補助対象面積 農薬の適正使用に関する市HP掲載回数及び広報つくば掲載回数 </td> <td style="text-align: center;">目標値</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> カバークロープ 50ha 環直交付金 15ha 有機資材 150ha 市HP掲載 1回、広報つくば掲載 1回 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> カバークロープ補助対象面積 環境保全型農業直接支払交付金対象面積 有機資材購入費補助対象面積 農薬の適正使用に関する市HP掲載回数及び広報つくば掲載回数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> カバークロープ 50ha 環直交付金 15ha 有機資材 150ha 市HP掲載 1回、広報つくば掲載 1回
<ul style="list-style-type: none"> カバークロープ補助対象面積 環境保全型農業直接支払交付金対象面積 有機資材購入費補助対象面積 農薬の適正使用に関する市HP掲載回数及び広報つくば掲載回数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> カバークロープ 50ha 環直交付金 15ha 有機資材 150ha 市HP掲載 1回、広報つくば掲載 1回 		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	・市民から農薬を適正に使用するよう求める要望が上がっているため、さらなる周知方法を検討します。
年間 (4～3月分)	<p>【カバークロープ事業】 ハゼリソウ 17.9ha ヘアリーベッチ 14.3ha 合計32.2ha</p> <p>【環境保全型農業直接支払交付金】 ・3団体 ・19.3ha</p> <p>【有機資材購入補助】 ・8団体 ・対象面積151.5ha</p> <p>【農薬の適正使用に関する市HP掲載回数及び広報つくば掲載回数】 ・農薬の適正使用に関する情報について、市HP 1回、広報つくば 2回（9月号、12月号）掲載しました。</p>	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	カバークロープ事業のみ未達成であり、その他の事業については達成することができました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	カバークロープ事業については、周知はしましたが、周知期間が短く、周知が遅れました。	
改善目標	カバークロープ導入事業については、市報やホームページ・SNS等で周知をしていきます。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・カバークロープ事業 申請者に対して、被覆植物の種子を無料配布します。（申込受付6月～7月、配布9月～10月） ・環境保全型農業直接支払交付金 農地土壌への炭素貯留に効果の高い営農活動や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対して交付金を交付します。（新規受付・変更申請6月、実績報告3月） ・有機資材購入費補助事業 農作物に応じて10a当たり1,000円から10,000円の有機資材購入費への補助を行います。（交付申請4月、実績報告1～2月） ・農薬の適正使用 市HP、広報つくばに農薬の適正使用に関する情報を掲載します。 農薬の適正使用についてのチラシを、JAや農薬販売店、ホームセンター等に配布し、購入者に周知を行います。（チラシ配布5月、広報つくば掲載6月） 		
R5年度 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・カバークロープ補助対象面積 ・環境保全型農業直接支払交付金対象面積 ・有機資材購入費補助対象面積 ・農薬の適正使用に関する市HP掲載回数及び広報つくば掲載回数 	目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・カバークロープ 30ha ・環直交付金 15ha ・有機資材 150ha ・市HP掲載 1回、広報つくば掲載 1回

施策番号

58 (4-2)

関連施策番号

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	4 安心して快適な生活環境で暮らす
将来像	不法投棄やごみのポイ捨てがなくなり、快適で心地よい生活環境になっています。また、大気汚染や騒音などの公害や健康被害を防ぐため、法令が遵守されます。法令の基準以上に、環境負荷の低減を図る事業者も多くいます。
施策の柱	4-2 安全な生活環境の確保
施策の方向性	有害化学物質の適正な管理

事業概要	
担当課・室	生活環境部 環境保全課
事業の目的	有害化学物質による健康影響を防止します。
事業の概要	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）において、対象事業者は、対象化学物質の排出量・移動量情報を県経由で国へ届出し、国が集計、公表しており、化学物質の排出量などの当該情報を市民に提供します。
R4年度事業計画	前年度同様に、国がホームページ上で公表しているPRTR法第8条第4項に基づき事業者から届け出された化学物質の排出量・移動量等をつくば市のホームページにリンクさせ、市民が閲覧しやすい環境を形成します。
R4年度成果指標	目標値

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	PRTR法に関する情報（PRTR法制度の概要、届出に関する情報、届け出された化学物質の排出量、移動量の公表先ホームページへのリンク）を継続して市のホームページに掲載し、市民が閲覧しやすい環境を形成しました。	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	PRTR法に関する情報（PRTR法制度の概要、届出に関する情報、届け出された化学物質の排出量、移動量の公表先ホームページへのリンク）を継続して市のホームページに掲載し、市民が閲覧しやすい環境を形成できました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	特にありません。	
改善目標	特にありません。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	前年度同様に、PRTR法第8条第4項に基づき事業者から届け出された化学物質の排出量・移動量等を市民が閲覧しやすい環境を形成します。		
R5年度 成果指標	国がホームページで公表している事業者が届け出た化学物質の排出量・移動量等に関する情報を、市のホームページを経由し閲覧できる環境を整備する。	目標値	—

施策番号

59 (5-1)

関連施策番号

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	5 市民一人ひとりが環境を考え、行動する
将来像	市民一人ひとりが、環境について楽しく学び、日々の暮らしで持続可能なライフスタイルを実践しています。また、家庭や職場、学校において、つくば市の環境や地球環境について話すのが当たり前になっていて、皆と一緒に創意工夫しながら環境保全に取り組んでいます。
施策の柱	5-1 持続可能なライフスタイルの推進
施策の方向性	市民の環境リテラシーの向上

事業概要				
担当課・室	生活環境部 環境政策課			
事業の目的	市民一人ひとりが環境に関わる資質や責任感、能力や知識・技能を身につけることを促進するため、大人向けの普及啓発活動“大人の環境教育”を推進します。市の豊かな自然や地球環境問題、日々の暮らしの環境負荷や環境にやさしい暮らし方などに関する正しい知識を身につけるため、環境教育講座等を開催します。			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大人向けの環境教育講座を実施します。 ・自然体験イベント、つくば環境フェスティバルなどを実施します。 			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者（NPO含む）や他部署と連携して、自然観察講座やリサイクル講座などの大人向け普及啓発活動や環境教育講座を企画します。 ・つくば環境フェスティバルで、IoTやゲーミフィケーション等を取り入れたプログラムを実施します。 			
R4年度成果指標	<table border="1"> <tr> <td>大人向けの環境講座イベントの実施回数</td> <td>目標値</td> <td>10回</td> </tr> </table>	大人向けの環境講座イベントの実施回数	目標値	10回
大人向けの環境講座イベントの実施回数	目標値	10回		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	「昆虫探し大作戦」（荒天のため中止した事業）については、テーマを再考し、下半期に実施します。
年間 (4～3月分)		<ul style="list-style-type: none"> ・大人向けの環境に関する普及啓発活動や環境教育講座を以下のとおり実施しました。 自然観察講座 「里山ウォーク 桜川を歩く」5月15日実施 「昆虫探し大作戦」9月23日（荒天のため中止） 「筑波山麓の里山散策と木の葉のスケッチを通しての環境学習」 11月20日実施（昆虫探し大作戦の代替講座として実施しました。） 「つくば市周辺の『自然』を感じて・学ぶツアー」3月4日実施 ・エコクッキング事業 10月7日実施 ・つくばサイエンスコラボ2023（環境フェスティバル） 11月12日実施
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	未達成であった	
2	目標値には届かなかったが、大人を対象とした環境教育を実施したり、つくばサイエンスコラボ2022（環境フェスティバル）を開催して、環境意識の向上を図ることができました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	次年度から環境フェスティバルを開催しないため、市民向けのイベント講座を充実させ、環境意識を高める必要があります。	
改善目標	森林・里山保全イベントなど自然体験型環境イベントの開催を検討します。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	未達成であった	
2	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者（NPO含む）や他部署と連携して、自然観察講座やエコクッキング事業などの大人向け環境教育講座を実施します。 ①自然観察講座 1回 ②エコクッキング（大人向け）1回 		
R5年度 成果指標	大人向けの環境講座イベントの実施回数	目標値	2回

施策番号

60 (5-1)

関連施策番号

68(5-3)

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	5 市民一人ひとりが環境を考え、行動する
将来像	市民一人ひとりが、環境について楽しく学び、日々の暮らしで持続可能なライフスタイルを実践しています。また、家庭や職場、学校において、つくば市の環境や地球環境について話すのが当たり前になっていて、皆と一緒に創意工夫しながら環境保全に取り組んでいます。
施策の柱	5-1 持続可能なライフスタイルの推進
施策の方向性	持続可能なライフスタイルの推進[重点施策]

事業概要				
担当課・室	生活環境部 環境政策課			
事業の目的	市民の日々の暮らしを持続可能なライフスタイルへと転換するサポートを推進します。また、地域の環境教育や環境保全活動に自ら取り組むリーダーが増えるよう、活動しやすい場づくりや市民ネットワークづくりの支援を行います。			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・環境分野で活躍する市民団体への支援強化や環境に関する情報を広く展開することが可能な人材の発掘を目指します。 ・優れた環境配慮製品などを購入する際の補助や会員制プログラムのポイント制度強化をはじめとするインセンティブ、内容の充実化を図ります。 			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マイスターの会及びジオパーク室との共催による自然環境教育事業を実施します。 ・会員への環境意識向上を図るため、環境スタイルサポーターズ会員へのポイント交換期間を拡充します。 			
R4年度成果指標	<table border="1"> <tr> <td>環境教育事業の実施回数</td> <td>目標値</td> <td>5回</td> </tr> </table>	環境教育事業の実施回数	目標値	5回
環境教育事業の実施回数	目標値	5回		

進捗状況・実績	
上半期 (4～9月分)	課題、改善が必要な点 「昆虫探し大作戦」(荒天のため中止した事業)については、テーマを再考し、下半期に実施します。
年間 (4～3月分)	・NPO法人への委託事業、桜川探検隊事業、環境マイスターの会との共催事業として自然環境教育を以下のとおり実施しました。 自然環境教育事業「里山ウォーク 桜川を歩く」5月15日実施 「谷津田の生き物調査」7月16日実施 「野外観察、カヌー体験」8月23日実施 「昆虫探し大作戦」9月23日(荒天のため中止) 「筑波山麓の里山散策と木の葉のスケッチを通しての環境学習」11月20日実施 「つくば市周辺の『自然』を感じて・学ぶツアー」3月4日実施
目標に対する年度末の達成状況及び成果	
評価	おおむね目標どおり達成した
4	自然環境教育事業を5回実施することができ、市民の身近な自然への理解と関心を深めることができました。
課題及び次年度へ向けた改善目標	
課題	特にありません。
改善目標	特にありません。
つくば市環境審議会の意見	
評価	おおむね目標どおり達成した
4	特になし。

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マイスターの会、ジオパーク室、NPO法人、桜川探検隊及び小野川探検隊と自然環境教育を実施します。 ・環境配慮製品などを購入する際の補助等を検討します。 ①環境マイスターの会 1回 ②ジオパーク室 1回 ③NPO法人 2回 ④桜川探検隊 3回 ⑤小野川探検隊 1回		
R5年度 成果指標	環境教育事業の実施回数	目標値	8回

施策番号

61 (5-1)

関連施策番号

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	5 市民一人ひとりが環境を考え、行動する
将来像	市民一人ひとりが、環境について楽しく学び、日々の暮らしで持続可能なライフスタイルを実践しています。また、家庭や職場、学校において、つくば市の環境や地球環境について話すのが当たり前になっていて、皆と一緒に創意工夫しながら環境保全に取り組んでいます。
施策の柱	5-1 持続可能なライフスタイルの推進
施策の方向性	環境情報の集約・発信

事業概要			
担当課・室	生活環境部 環境政策課		
事業の目的	市民の環境への関心度に応じた情報を提供・共有することで、持続可能なライフスタイルを実践する市民を増やします。		
事業の概要	・ホームページや広報紙・冊子などを通じて最新の環境情報や環境にやさしい生活の方法・工夫について、市民の環境への関心度に応じた情報を提供します。		
R4年度事業計画	・市民や環境スタイルサポーターズ会員を対象に省エネにつながる情報、環境イベントの情報など、環境情報や環境にやさしい生活の方法・工夫についての情報を提供するため、市ホームページやサポーターズニュース、メールマガジン等を活用した周知を行います。		
R4年度成果指標	サポーターズニュース発行数 (アンケート含む)	目標値	6回

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> 省エネにつながる環境情報、イベント情報などについて以下のとおり周知を行いました。 市ホームページ掲載数4回 （「自然環境教育事業の募集」、「つくばSDGsアワード」など） サポーターズニュース発行数3回 （「夏のエアコンを上手に使うために!」、「つくばSDGsアワード」） メールマガジン配信数40回 （「自然環境教育事業の募集」など） 	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	未達成であった	
2	サポーターズニュースの発行数は2回でしたが、市ホームページやメールマガジンなど他の媒体を通じて、省エネにつながる情報発信を行いました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	情報発信方法を精査する必要があります。	
改善目標	省エネ等に関する最新情報を迅速に発信できるようにします。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	未達成であった	
2	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 市HPやサポーターズメール等などを通じて、省エネにつながる環境情報や環境にやさしい生活情報を迅速に提供します。 		
R5年度 成果指標	サポーターズメールマガジンの配信回数	目標値	36回

施策番号

62 (5-2)

関連施策番号

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ		
基本目標	5 市民一人ひとりが環境を考え、行動する	
将来像	子どもへの環境教育も重視されており、子供たちの環境意識が高まっています。	
施策の柱	5-2	将来を担う子どもたちへの環境教育
施策の方向性	つくばスタイル科の推進	

事業概要			
担当課・室	教育局 学び推進課		
事業の目的	これからの時代に求められる力である「21世紀型スキル」を基盤として再構築した「つくば次世代型スキル」や「次世代環境教育プログラム」をつくばスタイル科をとおして実践し、子どもたちが環境やエネルギー、持続可能性を大切に作る実践的な社会づくりについて考えを深めていく活動を推進します。		
事業の概要	身近な自然の変化、自然との関わりを通して、人と環境の関係性を意識し、自然と共生するための人間生活を考えていきます。さらに、持続可能な社会の実現に向け、環境にやさしい社会づくりについて考えを深めていく活動を行います。		
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材や科学関連施設と連携した環境学習を実施します。 ・持続可能な開発目標の達成を呼びかける「SDGsシールコンテスト」を実施します。 ・つくばスタイル科を通して、SDGsを意識した環境学習プログラムを実施します。 ・人数制限等感染対策を講じた校外での行事を通して、自然体験活動を実施します。 		
R4年度成果指標	新たにSDGsの視点を取り入れた環境学習プログラムを実施し、修正再整備します。	目標値	

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	地域人材や科学関連施設と連携した環境学習に関して、学校間の差が見られます。学校の実態に応じた取り組みが求められるが、地域連携をさらに充実させる必要があると考えます。
年間 (4～3月分)		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、計画していた環境学習や体験活動を実施することができました。 ・SDGsシールコンテストでは、市内全児童生徒を対象にスタディノートを活用し、環境に関する意識啓発のために、SDGsの視点を題材としたスライドを作成することができました。作成されたスライドは、市内児童生徒が見ることのできるスタディノートの掲示板を活用し、共有を図ることもできています。これまで継続して実施してきており、今年度は市内ほぼ全ての学校から応募がありました。 ・新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、科学関連機関と対面で科学に関わる体験活動を行ったりGIGA端末を活用して交流を行ったりするなど、複数の方法で科学に関する活動を通して、環境に関する意識を高めることができました。 ・つくばスタイル科の中で、企業とのコラボレーションを活用しながらSDGsを意識した環境学習を行うことができました。
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	一部未達成であった	
3	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、対面・オンラインといった実施方法を模索しながら事業を行うことができました。計画している事業の一部未達成な部分（対面での実施）も含め、事業自体が、そもそも対面で行う必要があるか、オンラインでも可能なのかといった実施方法を精査し、事業を展開していく必要があります。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの対面による体験活動の実施。 ・GIGA端末を活用した環境学習や科学関連施設との連携の模索。 	
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、対面による体験活動の実施が予想されるため、対面のよさをいかしつつ、オンラインとのハイブリッドの方法をも選択肢の一つとして活動の幅を広げていきます。 ・上述のような活動の幅を広げるために、GIGA端末の活用（スタディノート10やMicrosoftのアプリ、プログラミング等）のより効果的な活用を目指します。 	
つくば市環境審議会の意見		
評価	一部未達成であった	
3	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材、科学関連施設、市で運営している事業と連携した環境学習を実施します。 ・持続可能な開発目標の達成を呼びかける「SDGsシールコンテスト」を実施します。 ・つくばスタイル科を通して、SDGsを意識した環境学習を実施します。 ・校外での行事を通して、自然体験活動を実施します。 		
R5年度 成果指標	つくばスタイル科において新たにSDGsの視点を取り入れた環境学習等、特色ある教育活動を実施し、子供たちの環境に対する意識の涵養や実践意欲を高めるために、未来に向けてよりよい教育活動となるよう、扱う内容や方法などを常時見直し、修正します。	目標値	—

施策番号

63 (5-2)

関連施策番号

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	5 市民一人ひとりが環境を考え、行動する
将来像	子どもへの環境教育も重視されており、子供たちの環境意識が高まっています。
施策の柱	5-2 将来を担う子どもたちへの環境教育
施策の方向性	つくばスタイル科の推進

事業概要				
担当課・室	生活環境部 環境政策課			
事業の目的	「つくばスタイル科」における次世代環境プログラムや「環境IEC運動」等の取組により、環境意識の高い児童生徒を育成し、長期的な視点で地域の温室効果ガス排出の抑制や持続可能な社会づくりを目指します。			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校において「つくばスタイル科」や「環境IEC運動」等を推進し、持続可能な社会づくりの担い手を育みます。 ・行政と学校の連携強化により、環境・経済・社会の統合的な視点で課題解決を図ることのできる人材を育む教育プログラムを実施します。 			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学生や環境スタイルサポーターズを対象に民間事業者と連携してエコクッキング事業を実施します。 ・市内の学校と連携し、「省エネドリル」を通して環境問題意識醸成プログラムを実施します。 			
R4年度成果指標	<table border="1"> <tr> <td>エコクッキング事業実施回数</td> <td>目標値</td> <td>5回</td> </tr> </table>	エコクッキング事業実施回数	目標値	5回
エコクッキング事業実施回数	目標値	5回		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ガスネットワーク㈱と連携して、エコクッキング事業を以下のとおり実施しました。 〔対象：小学生〕 講義：「エコクッキングについて」、実習：「野菜スープを作ろう」 6月22日、7月12日、7月13日、9月12日、9月29日、10月14日、10月26日、 11月9日実施 〔対象：サポーターズ会員〕 実習：「カラフル野菜たっぷりパスタ」8月19日、10月7日実施 ・地球温暖化対策に関する動画（省エネドリル）を制作して配信しました。 〔対象：市内小学校4年生〕 視聴回数：1,016回（7月23日～3月31日時点） 	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	目標を大幅に超えて達成した	
5	市内小学校から多くの申込みがあったため、エコクッキング事業を10回実施することができました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	特にありません。	
改善目標	特にありません。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	目標を大幅に超えて達成した	
5	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学生や環境スタイルサポーターズを対象に民間事業者と連携してエコクッキング事業を実施します。 ・市内の学校と連携し、「省エネドリル」を通じて環境問題意識醸成プログラムを実施します。 		
R5年度 成果指標	エコクッキング事業実施回数	目標値	15回

施策番号

64 (5-2)

関連施策番号

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	5 市民一人ひとりが環境を考え、行動する
将来像	子どもへの環境教育も重視されており、子供たちの環境意識が高まっています。
施策の柱	5-2 将来を担う子どもたちへの環境教育
施策の方向性	学校での地産地消の推進

事業概要				
担当課・室	教育局 健康教育課			
事業の目的	郷土を愛する心を育てるとともに、子どもたちへ地元農産物に関する理解を促進します。			
事業の概要	新鮮で安心・安全な地場産農産物の学校給食への導入を推進し、生産者と児童が直接交流する機会を設けます。			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> つくば市学校給食栄養士部会で、食生活に関する調査を行います。 献立表や給食だよりで学校給食に使用する地場産農産物やその生産者について紹介します。 生産者による食育授業を企画し、各学校で生産者による授業を実施します。 			
R4年度成果指標	<table border="1"> <tr> <td>つくば市学校給食会栄養士部会が実施している食生活に関する調査における「給食で地場産物を使っている認知度」</td> <td>目標値</td> <td>80%以上</td> </tr> </table>	つくば市学校給食会栄養士部会が実施している食生活に関する調査における「給食で地場産物を使っている認知度」	目標値	80%以上
つくば市学校給食会栄養士部会が実施している食生活に関する調査における「給食で地場産物を使っている認知度」	目標値	80%以上		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	コロナウイルスの影響により、給食時の学校訪問を行うことができませんでした。
年間 (4～3月分)	<p>つくば市学校給食栄養士部会で5年生8年生を対象に食生活に関するWeb調査2回目を行いました。食生活に関するアンケート調査の結果は、つくば市HPに掲載しています。</p> <p>11月「つくば市民の日」メニュー提供しました。 つくば市の生産者さんを学校に招き、食育授業を行いました。(令和4年度19件)</p>	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	未達成であった	
2	<p>学校給食に地元の食材が使われていることを知っている児童は、5年生で78.2%、8年生で75.7%でした。つくば市では、地元でとれた食材を学校給食に積極的に取り入れ、献立表での生産者の紹介や生産者の食育授業など、地元の食材の魅力を子どもたちに伝える活動を行っています。</p>	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	<p>コロナウイルス感染予防のため学校での給食時訪問が積極的に行うことができませんでした。</p>	
改善目標	<p>野菜や生鮮食品の生産者を幅広く講師依頼し、食育授業の充実を図ります。 コロナウイルス感染対策や状況を確認しながら、食育授業や給食時訪問を再開していきます。</p>	
つくば市環境審議会の意見		
評価	未達成であった	
2	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・つくば市学校給食栄養士部会で、食生活に関する調査を行います。 ・献立表や給食だよりで学校給食に使用する地場産農産物やその生産者について紹介します。 ・生産者による食育授業を企画し、各学校で生産者による授業を実施します。 		
R5年度 成果指標	つくば市学校給食会栄養士部会が実施している食生活に関する調査における「給食で地場産物を使っている認知度」	目標値	80%以上

施策番号

65 (5-2)

関連施策番号

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	5 市民一人ひとりが環境を考え、行動する
将来像	子どもへの環境教育も重視されており、子供たちの環境意識が高まっています。
施策の柱	5-2 将来を担う子どもたちへの環境教育
施策の方向性	学校外での環境教育の推進

事業概要				
担当課・室	生活環境部 環境政策課			
事業の目的	市内の子どもたちを対象とした環境学習イベントや、筑波ふれあいの里を中心とした筑波山麓の自然資源を活用した自然体験プログラムなどを通じて、学校外においても、子どもたちも環境教育を推進します。			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内の子どもたちを対象とした環境学習イベント等を開催します。 環境や持続可能性についての教材等を作成します。 			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習イベントとして、稚魚放流事業や筑波山自然環境教育事業を実施し、子どもたちに自然環境や身近な生き物、環境問題について学ぶ機会を提供します。 環境問題を身近に学ぶ機会を提供するため、小学校4年生向けに地球温暖化対策に関する動画を作成します。 			
R4年度成果指標	<table border="1"> <tr> <td>地球温暖化対策に関する動画の作成</td> <td>目標値</td> <td>地球温暖化対策に関する動画の完成</td> </tr> </table>	地球温暖化対策に関する動画の作成	目標値	地球温暖化対策に関する動画の完成
地球温暖化対策に関する動画の作成	目標値	地球温暖化対策に関する動画の完成		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	特にありません。
年間 (4～3月分)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習イベントを以下のとおり実施しました。 「稚魚放流事業」 6月24日実施 栄小学校児童49名 7月1日実施 大曾根小学校児童96名 計145名 「筑波山自然環境教育事業」 5月15日実施 参加者数大人15名 7月16日実施 参加者数大人5名、子ども5名 8月23日実施 参加者数大人4名、子ども6名 計 大人27名、子ども12名 ・地球温暖化対策に関する動画（省エネドリル）を制作して配信しました。 対象：市内小学校4年生、視聴回数：1,016回（7月23日～3月31日時点） 	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	地球温暖化対策に関する動画（省エネドリル）を作成・完成させ、1,016回の視聴がありました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	特にありません。	
改善目標	特にありません。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習イベントとして、稚魚放流事業や筑波山自然環境教育事業を実施し、子どもたちに自然環境や身近な生き物、環境問題について学ぶ機会を提供します。 ・環境問題を身近に学ぶ機会を提供するため、地球温暖化対策に関する動画を提供します。 		
R5年度 成果指標	動画の視聴回数	目標値	1,100回

施策番号

66 (5-2)

関連施策番号

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	5 市民一人ひとりが環境を考え、行動する
将来像	子どもへの環境教育も重視されており、子供たちの環境意識が高まっています。
施策の柱	5-2 将来を担う子どもたちへの環境教育
施策の方向性	学校外での環境教育の推進

事業概要				
担当課・室	経済部 観光推進課			
事業の目的	次世代を担う子供たちとその親の世代に、筑波山の豊かな自然が育みもたらす様々な恵みを体験を通して実感してもらい、良好な自然環境を将来へ継承するために実施します。			
事業の概要	「NPOつくば環境フォーラム」への委託事業。ふれあいの里を拠点に周辺の自然と里のくらしの知恵などを活かしたプログラムで、親子を対象に今年度は7回を予定しています。			
R4年度事業計画	7月 沢の生きもの観察会 7月 虫・むし探検隊① 8月 筑波山麓の自然で遊ぼう 9月 虫・むし探検隊② 10月 繭玉から生糸をつくってみよう 12月 稲わらでしめ縄づくり 12月 森の散策とクリスマスクラフト *年7回、各親子8~10組の参加を予定			
R4年度成果指標	<table border="1"> <tr> <td>実施回数、参加者数</td> <td>目標値</td> <td>・実施回数 年7回 ・参加者数 150名</td> </tr> </table>	実施回数、参加者数	目標値	・実施回数 年7回 ・参加者数 150名
実施回数、参加者数	目標値	・実施回数 年7回 ・参加者数 150名		

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	・コロナ感染拡大の状況により、募集人数に上限を設けていたため、状況に応じてプログラムに合った募集人員へと変更する必要があります。
年間 (4～3月分)	実施プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・7月2日 沢の生きもの観察会 参加人数 7組22名 (大人9名、子ども13名) ・7月27日 虫・むし探検隊① 参加人数 7組15名 (大人7名、子ども8名) ・8月24日 筑波山麓の遊ぼう 参加人数 7組18名 (大人8名、子ども10名) ・9月4日 虫・むし探検隊② 参加人数 10組27名 (大人14名、子ども13名) ・10月10日 真綿から繭玉をつくってみよう 参加人数 15組55名 (大人30名、子ども25名) ・12月3日 しめ縄をつくってみよう 参加人数 7組19名 (大人10名、子ども9名) ・12月17日 クリスマスクラフト 参加人数 6組15名 (大人7名、子ども8名) * 合計参加人数 59組171名 (大人85名、子ども86名)
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	今年度もコロナの影響でキャンセル者が多かったが、昨年度のようにプログラム中止までには至らず目標を達成することができました。	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	事業の波及効果を考えると、コロナの状況もだいぶ落ち着いてきたことから、来年度は、募集人数の制限を緩和し、各プログラムの参加者数を増やしていく必要があります。	
改善目標	コロナの感染対策は怠ることなく、参加意欲の高まるプログラムを提供して参加人数を増やします。	
つくば市環境審議会の意見		
評価	おおむね目標どおり達成した	
4	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	【筑波ふれあいの里】 7月 沢の生きもの観察会 8月 虫・むし探検隊 (調査編) 8月 筑波山麓の自然で遊ぼう 9月 虫・むし探検隊 (観察スケッチ編) 10月 繭玉から生糸をつくってみよう 12月 筑波山麓の稲わらでしめ縄づくり 12月 森の散策とクリスマスクラフト ※年7回、各親子12組の参加を予定		
R5年度 成果指標	【筑波ふれあいの里】 実施回数、参加者数	目標値	【筑波ふれあいの里】 7回、200名

施策番号

69 (5-3)

関連施策番号

433

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	5 市民一人ひとりが環境を考え、行動する
将来像	市民一人ひとりが、環境について楽しく学び、日々の暮らしで持続可能なライフスタイルを実践しています。また、家庭や職場、学校において、つくば市の環境や地球環境について話すのが当たり前になっていて、皆と一緒に創意工夫しながら環境保全に取り組んでいます。
施策の柱	5-3 環境と経済の好循環
施策の方向性	地産地消の推進

事業概要				
担当課・室	経済部 農業政策課			
事業の目的	地元農家の振興と地域経済の活性化の好循環による持続可能なまちづくりを目指し、地元産食材のPR、積極的活用、農産物加工品販売支援等により地域活性化を図ります。			
事業の概要	農産物の地産地消を推進するため、6次産業化支援、地産地消レストラン事業を行います。			
R4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化支援事業 ワインを初めとするつくば市産の農産物を使った加工品のブランド化のための、セミナー及びPRツール作成等を行います。 ・地産地消レストラン事業 地元産食材を使用する市内飲食店等を、地産地消店として認定し、付加価値をつけPRを行うことで地域活性化を図ります。 			
R4年度成果指標	<table border="1"> <tr> <td>地産地消店の認定数（累計）</td> <td>目標値</td> <td>155店舗（累計）</td> </tr> </table>	地産地消店の認定数（累計）	目標値	155店舗（累計）
地産地消店の認定数（累計）	目標値	155店舗（累計）		

進捗状況・実績	
上半期 (4～9月分)	課題、改善が必要な点 ・地産地消の取組のPRについて、さらにSNS等を活用し、PRできる方法を検討していきます。
年間 (4～3月分)	<p>【6次産業化支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化支援の相談件数は、年間で1者1回でした。 <p>【地産地消レストラン事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消レストラン等（地産地消店）の認定数は、累計157件でした。 ・専用ウェブサイトや農業政策課SNS（Instagram、Twitter）での周知により、地産地消の取組をPRしました。
目標に対する年度末の達成状況及び成果	
評価	おおむね目標どおり達成した
4	地産地消レストラン等（地産地消店）の認定数が157件となり、目標値を達成しました。
課題及び次年度へ向けた改善目標	
課題	目標値は達成したものの、地産地消の取組が市民等に広く伝わっていない点が課題となっています。
改善目標	引き続き地元産農産物や地産地消店のPRを行って地産地消を推進し、つくば観光コンベンション協会等と連携して情報発信を強化します。
つくば市環境審議会の意見	
評価	おおむね目標どおり達成した
4	評価の根拠として、ホームページのアクセス数以外を使用した方がよいと思います。

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地元産食材を使用した市内飲食店等を地産地消店として認定し、PRを行うことにより地産地消を推進し、地元産食材の消費拡大を図ります。 		
R5年度成果指標	地産地消レストランの認定件数（累計）	目標値	160件（累計）

施策番号

70 (5-3)

関連施策番号

64(5-2)

■令和4年度つくば市環境基本計画進行管理票■

環境基本計画の位置づけ	
基本目標	5 市民一人ひとりが環境を考え、行動する
将来像	市民一人ひとりが、環境について楽しく学び、日々の暮らしで持続可能なライフスタイルを実践しています。また、家庭や職場、学校において、つくば市の環境や地球環境について話すのが当たり前になっていて、皆と一緒に創意工夫しながら環境保全に取り組んでいます。
施策の柱	5-3 環境と経済の好循環
施策の方向性	地産地消の推進

事業概要			
担当課・室	教育局 健康教育課		
事業の目的	学校給食への地元農産物の利用 地域の活性化、生産者と消費者の結びつき強化、流通コストや環境負荷の削減等を目的とし、地域で生産された農産物を地域で消費します。		
事業の概要	地産地消を推進するため地元農家などから、野菜の積極的購入を行います。 つくば市産コシヒカリ（特別栽培米）100%使用の米飯や、つくば市産小麦ユメシホウを用いたパンの提供など各給食センターで工夫した献立作成を行います。 つくば市の食材を使用した「地産地消の日献立」や「ジオパークメニュー」など、給食に取り入れます。 地元農産物生産者の食育授業を実施します。		
R4年度事業計画	給食だより等において、地場産物情報の発信を積極的に行います。 つくば市産コシヒカリ（特別栽培米）100%使用の米飯を提供します。 各給食センターで工夫した献立作成を行います。 地元野菜の積極的導入を検討します。		
R4年度成果指標	地産地消率（つくば市で生産・収穫された食品数の割合）	目標値	20%

進捗状況・実績		
上半期 (4～9月分)	課題、改善 が必要な点	給食食材の安定した質と量の確保が課題です。
年間 (4～3月分)	<p>給食だよりやつくば市公式YouTube等において、生産者の紹介やレシピを公開しました。 つくば市産コシヒカリ100%使用の米飯を提供しました。 つくば市産米粉を使用した米粉パンを月に1回程度、提供しました。 地場産物を活用した、つくば地産地消の日メニューやつくば市民の日メニューを提供し、地産地消を推進しました。 つくば市産小麦ユメシホウとつくば市産にんじんペーストと使用した「ユメシホウにんじんロールパン」や「ユメシホウたこ焼き」つくば市産さつまいもを使用した「さつまいもコロケ」を企画し給食で提供しました。</p> <p>生産者の食育授業実施回数 19件</p> <p>地産地消率（つくば市で生産・収穫された食品数の割合）は18.4%</p>	
目標に対する年度末の達成状況及び成果		
評価	一部未達成であった	
3	<p>つくば市産特別栽培米コシヒカリ100%使用の米飯を提供しました。 給食だより等において、地場産物を使用したレシピや生産者の紹介を掲載しました。 学校給食の地場産物活用の指標である地産地消率（食品数ベース）が18.4%でした。</p>	
課題及び次年度へ向けた改善目標		
課題	<p>大規模給食センターの出荷量に対応できる農産物が少ないことや献立と野菜の集荷時期が合わず、つくば市産を使用できないことも課題です。</p>	
改善目標	<p>地産地消推進会議を年に数回程度実施し生産者と給食センタ情報共有を随時行います。 農業政策課と連携しながら、新規の地場産物納入業者の拡大を行います。</p>	
つくば市環境審議会の意見		
評価	一部未達成であった	
3	特になし。	

■令和5年度つくば市環境基本計画進行管理票■

R5年度 事業内容	<p>給食だより等において、地場産物情報の発信を積極的に行います。 つくば市産コシヒカリ（特別栽培米）100%使用の米飯を提供します。 各給食センターで工夫した献立作成を行います。 地元野菜の積極的導入を検討します。</p>		
R5年度 成果指標	地産地消率（つくば市で生産・収穫された食品数の割合）	目標値	20%